



2章

県PTAの活動

1. 県PTA躍進の沿革
2. 県PTA研究大会の記録
3. 県PTA連合会歴代役員一覧
4. 県PTA表彰の記録

1. 県PTA躍進の沿革

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
昭和 21	<ul style="list-style-type: none"> 第一次米国教育使節団報告書、日本教育の民主化のためPTAに関し勸奨を指示する 文化省はPTAの趣旨説明のため各都道府県社会教育課長会議を開催 	
22	<ul style="list-style-type: none"> 六三新学制発足 新憲法施行、教育基本法制定 「父母と先生の会」手引書を福島県下102市町村に配布し設置をはかる 	
23	<ul style="list-style-type: none"> 第1回教育委員選挙 文部省「参考PTA規約」を全国PTAに配布 新学制高等学校発足、サマータイム 	
24	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育法公布、PTAは社会教育団体として取り扱われる 教育公務員特例法施行 児童生徒指導要録制定 	
25	<ul style="list-style-type: none"> 第二次アメリカ教育使節団来日 	<ul style="list-style-type: none"> 福島県PTA連絡組織ができる PTA運営協議会県下4会場で実施
26	<ul style="list-style-type: none"> 講和条約締結、日米安保条約調印 	<ul style="list-style-type: none"> 福島県PTA連絡協議会が正式に結成される PTAリーダー講習会を二本松で開催する
27	<ul style="list-style-type: none"> 日本PTA結成大会東京大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回福島県PTA大会福島大会 (参考：福島県教育委員会発足)
28	<ul style="list-style-type: none"> 第1回日本PTA全国大会宇治大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回福島県PTA大会郡山大会 (参考：PTAリーダー講習会を6地区において開催)
29	<ul style="list-style-type: none"> 第2回日本PTA全国大会富山大会 学校給食法公布 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回福島県PTA大会会津若松大会 PTAリーダー講習会を郡山市で開催
30	<ul style="list-style-type: none"> 第3回日本PTA全国大会熱海大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第4回福島県PTA大会平大会 第1回教育予算確保県民大会開催
31	<ul style="list-style-type: none"> 第4回日本PTA全国大会奈良大会 新しい教育委員会（任命制）発足 	<ul style="list-style-type: none"> 第5回福島県PTA大会白河大会 PTAリーダー講習会を県中、浜、会津3ヶ所で開催
32	<ul style="list-style-type: none"> 全国PTA指導者講習会（文部省主催）東京都で開催 日本PTA全国協議会と改称 第5回日本PTA全国大会松山大会 教職員勤務評定、学力調査（社会、理科） 	<ul style="list-style-type: none"> 第6回福島県PTA大会福島大会

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
	260,558	
263,049 (会津若松を除く)	326,736	<ul style="list-style-type: none"> ○教育予算について2件 教育予算の増額とPTAの負担軽減 ○教育定数について7件 1学級当たりの児童、生徒数の基準を設定し教員定数の確保を図る、養護教諭・事務員の確保 ○学校施設基準について2件 1学級当たりの児童生徒数の基準をつくり多人数学級を解消する。 ○校舎建設について3件 国庫補助の増額、小学校屋体、小中学校プール建設に国庫補助 ○へき地教育振興について2件 へき地校の施設設備充実に国庫補助、へき地勤務の教員の優遇 ○災害補償について2件 学校管理下における児童生徒の災害補償の法制化 ○短大設置などについて5件 浜通り地区に短大を設置すること

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
33	<ul style="list-style-type: none"> 第6回日本PTA全国大会小樽大会 道徳指導実施、小・中学校学習指導要領を新しく制定 学校保健法公布 	<ul style="list-style-type: none"> 第7回福島県PTA大会会津若松大会 (参考：両親学級研究集会を県主催により開催)
34	<ul style="list-style-type: none"> 第7回日本PTA全国大会山口県宇部大会 ソ連の月ロケット発射 日本学校安全会法制定 	<ul style="list-style-type: none"> 第8回福島県PTA大会磐城大会
35	<ul style="list-style-type: none"> 第8回日本PTA全国大会福岡大会 NHK教育テレビ放送開始 	<ul style="list-style-type: none"> 第9回福島県PTA大会会津若松大会
36	<ul style="list-style-type: none"> 第9回日本PTA全国大会新潟大会 日本PTA第1回成人教育全国研究大会宮城県鳴子大会 日本PTA児童愛護活動全国研究大会明石大会 日本PTA教育予算獲得総決起大会東京大会 改訂教育課程実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第10回福島県PTA大会二本松大会 教育予算確保運動
37	<ul style="list-style-type: none"> 第10回日本PTA全国大会平塚大会 中学校新教育課程全面实施 	<ul style="list-style-type: none"> 第11回福島県PTA大会相馬大会 福島県PTA研究集会を県婦人会館で開催 教育予算確保運動

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
272,505	336,247	<ul style="list-style-type: none"> ○学級編制および教職員定数について3件 ○PTAの負担軽減と教育予算の増額について4件 要保護、準要保護、児童生徒の修学旅行費補助など ○施設設備の充実について5件 指導要領改訂に伴う施設設備の充実、理振法、産振法の充実 ○学校給食について2件 給食費給食施設設備に対する国庫補助の増額 ○高等学校の学級増について1件 ○交通取締強化について2件 ○児童生徒の災害補償、へき地教育振興、浜通りに大学設置など6件
265,762	371,648	<ul style="list-style-type: none"> ○学級編制及び教職員定数について8件 狭隘教室、複式学級の児童、生徒の定数基準、小規模学校の教員定数の充実、カウンセラーの設置など ○小・中学校の施設設備の充実について6件 学校保健法の施行に伴う施設設備の充実など ○学校給食について1件 国庫補助の増額 ○高等学校生徒の募集定員の増加について ○県立学校の設置について4件 浜通り北部に県立水産高校、浜通りに県立養護学校、県立大学の設置 ○教員に住宅手当支給の法制化など5件
315,331	333,678	<ul style="list-style-type: none"> ○学級編制および教職員定数について9件 標準法の改正とすし詰学級解消、養護教諭・事務職員・教頭などの全校必置、欠員補充の完全配置 ○学校建築と施設設備について5件 国庫負担率の引上げ、中学校生徒急増と教室の増築、小学校屋体に対する国庫補助の法制化、指導要領の改訂と施設設備の充実 ○学校給食について4件 給食施設設備の国庫補助増額、給食費の全額国庫負担、栄養士の国庫負担 ○教職員の旅費手当などの増額について2件 ○高校新設と生徒定員増募について4件 ○修学旅行に関する件など5件 修学旅行の日数を小学校1泊2日、中学校3泊4日とすることなど
328,628	346,667	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設の設備について5件 危険校舎統合校舎建築の国庫負担率の引き上げ 学校敷地買収に国庫補助など ○教育課程の改訂と教育教具の充実など3件 基準財政需要額の増額、教育費の増額など ○学校給食の充実促進について6件 給食用小麦粉、施設設備準要保護児童、栄養士の給与などについての国庫補助の増額について ○地財法の改正と父兄の負担軽減について2件 ○県教育予算の確保について5件 教員定数の増大、へき地教育振興、特殊教育の振興、小規模校への養護事務負担外教員の配当など ○高校急増対策ほか2件
344,486	575,500	<ul style="list-style-type: none"> ○高校急増対策について2件 ○学校給食の充実促進について7件 ○児童生徒の漸減と教育諸条件の整備について4件 1学級児童数50人の実現教員定数配当の改善、特別室の整備充実 ○教材教具の整備とPTA負担軽減3件 基準財政需要額、教材費市町村教育費の中の備品費の増額 ○国庫補助、国庫負担の増額など ○学校防火と警備員の配置について1件 ○理科センターの設置について1件 ○小学校屋体新增築の2分の1国庫負担1件

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
38	<ul style="list-style-type: none"> 第11回日本PTA全国大会岡山大会 教科書無償法可決 全国一斉学力調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第12回福島県PTA大会須賀川大会 福島県PTA研究集会を磐城市、白河市、会津坂下町で開催 (参考：福島県教委初の学力向上対策会議開く) ブロックごと研究集会 教育予算確保運動 PTAの研究調査
39	<ul style="list-style-type: none"> 第12回日本PTA全国大会東京大会 東京オリンピック大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第13回福島県PTA大会会津若松大会 ブロックごと研究集会 教育予算確保運動 PTAの研究調査
40	<ul style="list-style-type: none"> 第13回日本PTA全国大会東京大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第14回福島県PTA大会福島大会 ブロックごと研究集会 教育予算確保運動 PTAの研究調査
41	<ul style="list-style-type: none"> 第14回日本PTA全国大会静岡県熱海大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第15回福島県PTA大会平大会 (参考：磐梯青年の家開所) ブロックごと研修会 教育予算確保運動 PTAの研究調査 第1回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
42	<ul style="list-style-type: none"> 第15回日本PTA全国大会長崎大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第16回福島県PTA大会白河大会 ブロックごと研修集会 教育予算確保運動 PTAの研究調査 第2回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
43	<ul style="list-style-type: none"> 第16回日本PTA全国大会福島大会 文化庁発足する 日本PTA成人教育研究会鹿児島大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第17回福島県PTA大会福島大会 (全国大会と兼ねる) ブロックごと研修会 教育予算確保運動 PTAの研究調査 第3回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
44	<ul style="list-style-type: none"> 第17回日本PTA全国大会北海道札幌大会 アポロ11号月着陸に成功 広域教育行政改革の一環として16教育事務所を7教育事務所に統合 第1回東北7県PTA研究大会仙台大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第18回福島県PTA大会喜多方大会 ブロック研修 教育予算確保運動 PTAの研究調査 第4回福島県小中学校PTA広報紙コンクール

2 章

1. 県PTA躍進の沿革

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
244,109 (大沼含まず)	733,825	<ul style="list-style-type: none"> ○標準法の抜本的改正について6件 ○高校急増対策の継続について4件 ○公立義務教育諸学校施設負担法の1部改正について4件 基準坪数の算定を児童生徒数でなく学級数に改める。構造比率、基準単価のひきあげ小学校屋体の国庫負担 小学校屋体の国庫負担 ○市町村教育財政の確立とPTAの負担軽減など3件 ○学校給食の充実について7件 国庫補助の増額、栄養士の身分確立 ○精神薄弱児施設の増設について2件 ○理科センターの設置について1件 ○児童生徒バス料金の値上げについて1件
264,952 (岩瀬、河沼、石城を含まず)	763,040	<ul style="list-style-type: none"> ○義務教育諸学校施設負担法の一部改正について5件 ○学級編制と教職員定数の改善について8件 ○教材教具の設備充実とPTAの負担軽減について2件 ○学校給食の充実について6件 ○学校防火対策の整備拡充について2件 警備員の配置、防火施設設備の整備拡充 ○学校安全会の給付金の増額について1件 ○精神薄弱児施設の設置促進について1件 ○石城地区に工業課程の大学設置、会津短大を4年課程に本校急増対策の継続について各1件
338,803	738,707	<ul style="list-style-type: none"> ○義務教育諸学校の教育費の大幅増額とPTAの負担軽減について5件 学給食補助金、寒冷地給旅費の増額など ○教職員定数の確保と教職員の資質の向上について6件 事務、養護教員の全校配置、特殊学級の増設と担任教員の養成、へき地教育の振興、警備員の配置、研修旅費増額 ○児童生徒の安全対策について4件 交通安全、学校防火、学校付近の環境浄化など
310,592 (北会津を含まず)	698,289	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の定数増加について ○教育費の大幅増額と父兄の負担軽減について5件 ○研修費、生徒指導旅費、体育大会引率費の増額、給食費、給食施設設備費、警備員設置費等 ○児童生徒の安全対策3件 ○特殊学校の新設とへき地教育の振興 ○子どもの遊び場と児童館の設置 ○小学校修学旅行の宿泊承認
313,925	686,745	<ul style="list-style-type: none"> ○義務教育諸学校の教育費を大幅に増額しPTA負担軽減を図りたい ○教職員の定数増 ○各種の特殊学校、特殊学級の増設と充実振興 ○児童生徒の交通安全対策 ○へき地教育振興対策
305,855	645,490	<ul style="list-style-type: none"> ○第16回日本PTA全国大会に参加
302,775	659,820	<ul style="list-style-type: none"> ○教育施設設備充実のため、教育予算を大幅に増額し父母負担の軽減を図ること ○教職員定数の充実を期して、標準法の改正を要望すること ○大会宣言に関すること ○へき地教育振興に関すること ○福島県公立高等学校の通学区域を再検討すること ○児童生徒を交通事故から守るため徹底的な交通安全対策を講ずること ○特殊教育の充実の促進を図りたい

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
45	<ul style="list-style-type: none"> 第18回日本PTA全国大会鹿児島大会 第2回東北7県PTA研究大会秋田大会 日本万国博覧会開く 	<ul style="list-style-type: none"> 第19回福島県PTA大会郡山大会 ブロック研修 教育予算確保運動 PTAの研究調査 第5回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
46	<ul style="list-style-type: none"> 第19回日本PTA全国大会金沢大会 小学校学習指導要領改訂 中教審答申（教育改革について） 第3回東北7県PTA研究大会岩手県花巻大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第20回福島県PTA大会相馬大会 ブロック研修 教育予算確保運動 PTAの研究調査 第6回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
47	<ul style="list-style-type: none"> 第20回日本PTA全国大会東京大会 第4回東北7県PTA研究大会青森大会 中学校学習指導要領改訂 学制発布100年記念式典実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第21回福島県PTA大会二本松大会 ブロック研修 教育予算確保運動 PTAの研究調査 第7回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
48	<ul style="list-style-type: none"> 第21回日本PTA全国大会宇都宮大会 第5回東北7県PTA研究大会山形県温海大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第22回福島県PTA大会会津若松大会 ブロック研修 教育予算確保運動 PTAの研究調査 第8回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
49	<ul style="list-style-type: none"> 第22回日本PTA全国大会北九州大会開催 第6回東北7県PTA研究大会福島大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第23回福島県PTA研究大会福島大会（東北大会と兼ねる） 福島県PTA連合会と改称 福島県PTA安全互助会創設 ブロック研修 教育予算確保運動 第9回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
50	<ul style="list-style-type: none"> 第23回日本PTA全国大会香川県高松大会 第7回東北7県PTA研究大会新潟県村上大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第24回福島県PTA研究大会いわき大会 ブロック研修 教育予算確保運動 第10回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
51	<ul style="list-style-type: none"> 第24回日本PTA全国大会盛岡大会 第8回東北6県PTA研究大会盛岡大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第25回福島県PTA研究大会須賀川大会 第11回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
52	<ul style="list-style-type: none"> 第25回日本PTA全国大会北海道札幌大会 第9回東北6県PTA研究大会宮城県鳴子大会 日P主催第1回海外教育事情視察を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第26回福島県PTA研究大会塩川大会 第1回子どもの災害事故防止ポスター作品展 教育予算確保運動 調査広報活動 第12回福島県小中学校PTA広報紙コンクール

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
292,329	645,204	<ul style="list-style-type: none"> ○義務教育諸学校の教育費を大幅に増額し、父母負担の軽減を図ること ○教職員の定数を増し、標準法の改正を要望すること ○へき地教育振興に関すること ○特殊教育の充実振興を図ること ○幼児教育の振興充実を図ること ○児童生徒の交通安全と健全育成のための組織化を図ること ○公立高校の増設及び学区制の再検討を図りたい
279,108	696,289	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の定数を増し標準法の改正を要望すること ○義務教育諸学校の教育費を大幅に増額し、父母の負担を軽減を図ること ○へき地教育の振興に関すること ○特殊教育の充実振興を図ること ○児童生徒の交通安全対策の強化を図ること ○地域の実情に即し、公立高等学校の新增設を図ること
255,674	1,361,811	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校施設設備費を大幅に増額し、父母負担の軽減を図ること ○公立高等学校の普通科の増設または学級増を要望すること ○小・中学校教育充実のため、教職員の定数確保 ○小・中学校の設置基準制定を速やかに実施するよう要望すること ○社会教育の振興、充実に関すること、交通安全対策強化に関すること
268,146	1,522,703	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育振興のため、指導組織の充実とPTA会員相互の研修に努めること ○児童生徒の健康安全を守る教育環境の拡充整備等について強力にその充実に努める ○小・中養護学校の教育費を大幅に増額し、父母負担の軽減に努めること ○在学青少年の校外補導の充実に努める ○義務教育充実向上のため、教職員定数の確保に努めること ○特殊、へき地教育の充実に努めること ○教職員の待遇改善に努めること ○地域の実情に即し、公立高等学校の新增設に努める
268,148	2,640,000	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校の教育費を大幅に増額し、父母負担の軽減に努めること ○社会教育振興のため、指導組織の充実とPTA会員相互の研修に努めること ○在学青少年の校外補導の充実に努める ○特殊、へき地教育の充実に努める ○地域の実情に即し、公立高等学校の新增設に努める ○PTA安全互助会の加入促進に努める
257,183	2,820,873	<ul style="list-style-type: none"> ○教育費を大幅に増額し、父母負担の軽減に努めること ○社会教育振興のため、指導組織の充実とPTA会員相互の研修に努めること ○在学青少年の校外補導の充実に努める ○地域の実情に即し、公立高等学校の新增設に努める ○PTA安全互助会の加入促進に努める
276,050	3,317,931	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯教育の立場から社会教育団体の育成強化の施策を推進すること ○特殊教育、へき地対策および過疎地域の教育について、いっそうの振興を促すこと ○国庫補助対象備品の設備基準を再検討し、その改善を行うこと ○PTA安全互助会の加入促進
271,060	4,023,233	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯教育の立場から、社会教育関係団体の育成、強化の施策を推進すること ○豊かな人間形成をはかるために教育環境の整備及び浄化を図ること ○子どもの健康安全対策に万全を期すること ○地域の実情に即し、高等学校の増設、または学級増、定数増および、幼児の幼稚園全入に必要な公立幼稚園の増設に努めること ○小・中・養護学校の教育費を大幅に増額し、父母負担の軽減を図ること

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
53	<ul style="list-style-type: none"> 第26回日本PTA全国大会山口大会 第10回東北6県PTA研究大会秋田大会 日P主催第1回日米教育長等交流事業を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 第27回福島県PTA研究大会郡山大会 (参考:福島県青少年育成条例〈S.53.9.1〉施行) 教育懇談 予算確保運動 第2回子どもの災害事故防止ポスター作品展 53年度会費12円 第13回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
54	<ul style="list-style-type: none"> 第27回日本PTA全国大会福井大会 第11回東北6県PTA研究大会八戸大会 新学習指導要領「ゆとりある教育」の実施 教科書無償制度維持について陳情 日P主催PTAの実態と、父母の教育への意識調査を実施 日P東京軽印刷工業の共催による第1回「全国小中学校PTA紙コンクール」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第28回福島県PTA研究大会浪江・双葉大会開催 調査広報活動 予算確保陳情活動 第3回子どもの災害事故防止ポスター作品展 第14回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
55	<ul style="list-style-type: none"> 第28回日本PTA全国大会大分大会 第12回東北PTA研究大会山形県蔵王大会 日P主催で親の意識調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第29回福島県PTA研究大会白河大会 第1回PTA母親リーダーセミナー開催 予算確保陳情活動 第4回子どもの災害事故防止ポスター作品展 55年度より会費を6円上げて14円とする 第15回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
56	<ul style="list-style-type: none"> 第29回PTA全国大会和歌山大会 第13回東北PTA研究大会福島市飯坂大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第30回福島県PTA研究大会(東北大会を兼ねる) 福島県PTA連合会創立30周年記念式典を挙(S56.12.8) 記念誌、30年の歩みを刊行 第2回PTA母親リーダーセミナー開催 第5回子どもの災害事故防止ポスター作品展 予算確保陳情活動 優良図書推薦 第16回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
57	<ul style="list-style-type: none"> 第30回日本PTA全国大会東京大会 第14回東北PTA研究大会盛岡大会 教科書無償制度維持について陳情(全国的に展開) 	<ul style="list-style-type: none"> 第31回福島県PTA研究大会会津若松大会 第3回PTA母親リーダーセミナー開催 優良図書推薦 予算確保陳情活動 第6回子どもの災害事故防止ポスター作品展 第17回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
58	<ul style="list-style-type: none"> 第31回日本PTA全国大会徳島大会 第15回東北PTA研究大会仙台大会 教科書無償制度の存続について陳情 日Pで、PTA基本調査(全国すべての公立小・中学校を対象)を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第32回福島県PTA研究大会原町大会 第4回PTA母親リーダーセミナー開催 第7回子どもの災害事故防止ポスター作品展 優良図書推薦 県連P会報、事務局報年2回発行 第18回福島県小中学校PTA広報紙コンクール

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
279,283	4,814,109	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯教育の立場から、社会教育関係団体の育成、強化の施策を更に推進すること ○豊かな人間形成を図るために教育環境の整備及び浄化を図ること ○児童生徒の健康安全対策を強化すること ○在学青少年の校外活動の振興と傷害における補償の助成を図ること ○小・中学校の教育費を増額し、父母負担の軽減を図ること ○小・中学校教育充実のため教員定数の改善並びに学級編制基準の改善を図ること
273,484	5,140,348	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年の健全育成活動をいっそう充実させること ○生涯教育の一環として成人教育活動を推進させること ○児童・生徒の校外活動の振興と傷害補償制度の確立を図ること ○母親リーダーの活動の促進と研修会の充実を図ること ○児童・生徒の健全な育成を図るため、環境浄化の具体策を強化すること ○義務教育費を増額し、父母負担の軽減を図ること ○山村・へき地における教育振興対策を充実させること ○教職員の定数及び学級編制基準を改善すること ○新学習指導要領に対応する施設設備の充実を図ること
276,705	5,389,165	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年の健全育成を一層充実させること ○生涯教育の一環として、成人教育活動を推進させること ○子どもをとりまく教育環境の改善浄化を図ること ○児童生徒の健康安全対策に万全を図る ○心豊かな子どもを育てるための文化活動を推進させること ○家庭教育を充実させるため、母親研修の充実を図る ○新学習指導要領に対応する施設設備の充実を図る ○新学級編制基準制度の実施促進を図る
279,451	6,496,473	<ul style="list-style-type: none"> ○われわれは、2日間にわたり、東北各地で行われてきた実践報告や研究成果を発表しあい、今後のPTAの活動の方向を求めて、あらゆる角度から問題点を掘り下げ、その解明のため、真剣に研究討議を行う ○21世紀に生きる人間性豊かな子どもを育てるため、生涯教育の重要性を再確認し、家庭教育、社会教育、学校教育の連携と相互協調が必要であると共に、一地域にとどまらず、東北PTA会員の相互の交流と理解を深め、創造的なPTA活動をすすめる
284,265	6,335,844	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯教育の視点に立ってPTA研修活動の強化 ○教育環境の浄化と文化面に積極的な活動の推進 ○青少年の非行化防止に、総力を結集し対策を練る ○家庭教育を充実するため、母親の研修活動を強化する ○子どもの交通安全と、公害防止対策に万全を期する ○心身障がい児教育の充実と、養護教育に対する正しい理解と協力を図る ○義務教育費を増額し、父母負担の軽減を図る ○新学級編制基準制度の実施促進を図る ○教科書無償制度の存続を維持する
284,827	7,398,163	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯教育の視点に立って、成人教育の内容充実を図り、人間性豊かな会員としての資質の向上を期する ○心身共に健全な信頼される人間の育成をめざし愛情豊かにして、毅然たる教育の実現を期する ○子どもの豊かな心情を育てるために、教育環境の浄化と、文化活動の振興に努める ○子どもの交通安全と、公害防止対策に万全を期する ○小・中学校教育充実のため、教職員定数、および、学級編制基準の改善を促進する ○教科書無償制度の存続を維持する

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
59	<ul style="list-style-type: none"> 第32回日本PTA全国大会青森大会 第16回東北PTA研究大会秋田大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第33回福島県PTA研究大会須賀川大会 県PTA安全互助会設立10周年記念式典挙行、記念誌10年の歩み刊行 第5回PTA母親リーダーセミナー開催 第8回子どもの災害事故防止ポスター作品展 優良図書推薦 県連P会報、事務局報年2回発行 第19回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
60	<ul style="list-style-type: none"> 第33回日本PTA全国大会横浜大会 第17回東北PTA研究大会山形大会 文部省は、社団法人日本PTA設立を許可 日P主催、日中友好「青少年の翼」を初めて、中国に派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 第34回福島県PTA研究大会二本松大会 第6回PTA母親リーダーセミナー開催 第9回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 優良図書推薦 県連P会報、事務局報年2回発行 第20回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
61	<ul style="list-style-type: none"> 第34回日本PTA全国大会旭川大会 第18回東北PTA研究大会郡山大会 テレビ番組調査実施（日P調査） 	<ul style="list-style-type: none"> 第35回福島県PTA研究大会郡山大会（東北大会と兼ねる） 第7回PTA母親リーダーセミナー開催 第10回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 優良図書推薦 県連P会報、事務局報年2回発行 第21回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
62	<ul style="list-style-type: none"> 第35回日本PTA全国大会広島大会 第19回東北PTA研究大会古川大会 続テレビ番組調査実施（日P主催）結果を関係機関に報告、改善を求む 「月刊PTA」創刊（日P発行） 	<ul style="list-style-type: none"> 第36回福島県PTA研究大会いわき大会 第8回PTA母親リーダーセミナー開催 第11回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 優良図書推薦 県連P会報、事務局報発行 第22回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
63	<ul style="list-style-type: none"> 第36回日本PTA全国大会岐阜大会 第20回東北PTA研究大会北上大会 日P主催、学校生活（登校拒否等）に関する調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第37回福島県PTA研究大会喜多方大会 第9回PTA母親リーダーセミナー開催 第12回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 優良図書推薦 県連P会報、事務局報年2回発行 第23回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
平成 1	<ul style="list-style-type: none"> 第37回日本PTA全国大会那覇大会 第21回東北PTA研究大会三沢大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第38回福島県PTA研究大会相馬大会 第10回PTA母親リーダーセミナー開催 第13回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 優良図書推薦 県連P会報、事務局報年2回発行 第24回福島県小中学校PTA広報紙コンクール

2 章

1. 県PTA躍進の沿革

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
287,309	7,744,805	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯教育の視点に立って、成人教育の内容充実を図り、人間性豊かな会員としての、資質の向上を図る ○学校・家庭・地域社会の教育的機能が遺憾なく発揮されるよう、そのかけ橋としてのPTA活動を通し、教育力の回復に努める ○親と子の関係を基調とした望ましい家庭教育について研さんを積み、あすを担う子どもの育成に努める ○子どもの豊かな心情を育てるため、教育環境の浄化と、文化活動の振興に努める ○小・中学校教育充実のため、教職員定数の改善並びに学級編制基準の改善に努める
302,274	7,894,143	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAは、子どもの幸せを願う父母と教師の会であることの原点にたち、自らを高めるとともに、父母と教師が相提携し子どもをめぐる諸問題の解決に組織を結集して行動する ○PTAは地域社会の中心となり、青少年健全育成活動を課題として計画継続的に実践する ○PTAは、家庭教育の現状にかんがみ、地域社会の一員として、地域活動へ積極的に参加する ○PTAは、子どもの豊かな心情を育てるために、教育環境の浄化、文化活動の振興に努める ○PTAは、人権人命を尊重し、子どもをめぐる危機的状況の追放と、安全教育の徹底に努める
287,433	8,467,278	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAは、教育環境を整え、地域の関係団体の連携を強め、地域ぐるみの健全育成活動を推進する ○PTAは、1人1人が積極的に参加できる組織・運営を図り、共に学び励まし合う研修を進める また、魅力ある広報活動を推進する ○PTAは、心豊かな子どもの成長を願い、ふるさとの自然を愛し、地域社会の文化を継承し、体験学習をすすめ、ふるさとづくりを推進する ○PTAは、家庭教育充実のため、親と教師の連携を図り、家庭と学校が補完し合う活動を推進する
283,989	8,436,535	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAは、子どもの幸せを願う父母と教師の会であることの原点に立ち、相互の理解を図り、自らを高めるとともに、活気溢れるPTA活動の推進に努める ○PTAは、家庭のもつ教育的役割の重大性を再確認し、強力な研修活動を通じて、家庭教育の充実に努める ○PTAは、地域社会における青少年健全育成のかなめとしてその役割を自覚し、関係団体との連携を密にして、地域の教育力の向上に努める ○PTAは、人権人命を尊重し、子どもをめぐる危機的状況の追放と、安全教育の徹底に努める
279,876	8,832,801	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAは、子どもの幸せを願う父母と教師の会であることの原点に立ち、自らを高めるとともに、相互の理解を深め、活気溢れる活動の推進に努める ○PTAは、家庭の持つ教育的役割の重大性を再確認し、強力な研修活動を展開し、正しい親と子の関係を基調とした真の家庭づくりに努める ○PTAは、地域社会における青少年健全育成活動の中核としての役割を自覚し、関係団体との連携を密にして、地域の教育力の向上に努める ○PTAは、人権人命を尊重し、子どもをめぐる危機的状況の追放と、安全教育の徹底に努める
275,412	13,821,421	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAは、子どもの幸せを願う父母と教師の会であることの原点に立ち、自らを高めるとともに、相互の理解を図り、創意に満ちた活力あるPTA活動の推進に努める ○PTAは、家庭の持つ教育的役割の重大性を再認識し、強力な研修活動を行い家庭教育の推進に努める ○PTAは、地域社会における青少年健全育成活動の中核としての役割を自覚し、関係団体との連携を強め、地域の教育力の向上に努める ○PTAは、文化活動、スポーツ活動の振興に努めるとともに、郷土や、国を愛する心を持ち、国際性豊かな人間の育成に努める

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
2	<ul style="list-style-type: none"> 第38回日本PTA全国大会大阪大会 第22回東北ブロック研究大会秋田大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第39回福島県PTA研究大会白河大会 第11回PTA母親リーダーセミナー開催 第14回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 優良図書推薦 県連P会報、事務局報年2回発行 県議会政党へ次年度予算確保陳情 第25回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 教育懇談会開催
3	<ul style="list-style-type: none"> 第39回日本PTA全国研究大会高知大会 第23回東北ブロック研究大会山形大会 テレホンサービスダイヤルQ2の有害番組の排除についてNTTに要請 	<ul style="list-style-type: none"> 県P連創立40周年記念誌「40年の歩み」発行 第40回福島県PTA研究大会会津若松大会 第12回PTA母親リーダーセミナー開催 第15回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 県議会政党へ次年度予算確保陳情 第26回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 教育懇談会開催 安全互助会会費改訂
4	<ul style="list-style-type: none"> 第40回日本PTA全国研究大会群馬大会 第24回東北ブロック研究大会福島大会 学校における健康診断項目の改正（文部省） 登校拒否（不登校）問題について一児童生徒の心の居場所づくりを目指して一報告（学校不適応対策協力者会議） 新小学校学習指導要領、特殊教育諸学校小学校学習指導要領施行 	<ul style="list-style-type: none"> 第41回福島県PTA研究大会福島大会（東北大会と兼ねる） 第13回母親リーダーセミナー 第16回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 第27回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
5	<ul style="list-style-type: none"> 第41回日本PTA全国研究大会山形大会 第25回東北ブロック研究大会仙台大会 PTA実践事例集Ⅸ「みんなで参加、生きいき学校外活動を」作成配布 月2回の学校週5日制を試行する実践研究地域11地域を指定（文部省） 	<ul style="list-style-type: none"> 第42回福島県PTA研究大会原町大会 第14回母親リーダーセミナー 第17回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 県議会政党へ次年度予算確保陳情 第28回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 小中学校別PTA懇談会開設 安全互助会保障内容改善
6	<ul style="list-style-type: none"> 第42回日本PTA全国研究大会松江大会 第26回東北ブロック研究大会水沢大会 児童の権利に関する条約発効 学校教育法施行規則の一部を改正する省令公布・通知（月2回の学校週5日制） サッカーくじについての陳情・懇談 いじめ対策緊急会議「緊急アピール」提言 	<ul style="list-style-type: none"> 第43回福島県PTA研究大会須賀川大会 第15回母親リーダーセミナー 第18回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 県議会政党へ次年度予算確保陳情 第29回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 第2回小中学校別PTA懇談会

2 章

1. 県PTA躍進の沿革

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
270,954	14,587,239	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAは、子どもの幸せを願う父母と教師の会であることの原点に立ち、自らを高めるとともに、相互の理解を深め、創意に満ちた活力あるPTA活動の推進に努める ○PTAは、家庭の持つ教育的役割を再確認し、望ましい家庭教育の推進に努める ○PTAは、地域社会における青少年健全育成活動の中核としての役割を自覚し、関係団体との連携を強め、地域の教育力の向上に努める ○PTAは、文化活動、スポーツ活動の振興に努めるとともに、郷土や国を愛する心を持ち、国際性豊かな人間の育成に努める
267,280	13,541,525	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAは、子どもの幸せを願う父母と教師の会であることの原点に立ち、自らを高めるとともに、相互の理解を図り父母と教師の連携の絆をいっそう強固なものにし、創意に満ちた活力あるPAT活動の推進に努める ○PTAは、家庭のもつ教育的役割を再確認し、望ましい親と子の関係を基調とした家庭教育の推進に努める ○PTAは、地域社会における青少年健全育成活動の中核としての役割を自覚し、関係団体との連携を強め、積極的に教育環境の浄化と整備を図り、地域の教育の向上に努める ○PTAは、郷土や国を愛する心をもち、世界に開かれた国際性豊かな人間の育成に努める ○PTAは、子どもの人権、人命を尊重し、心身に障がいをもつ子どもの教育に対する正しい理解を図り、積極的な協力活動に努める
262,580	18,155,998	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAは、心豊かな子どもの育成を目指して、父母と教師の堅固な信頼関係の上に立つ活力に満ちた組織・運営を行うことに努める ○PTAは、家庭の教育力の向上を図ると共に、生涯学習の必要性を重視し、PTA会員の相互研修を深めることに努める ○PTAは、家庭・小中学校・地域社会と連携の絆を強めながら、教育環境の整備・浄化を図り、青少年の健全育成のために努める ○PTAは、学校週五日制実施の中で、その趣旨を真に理解し、子どもたちの生活体験をより豊かなものにするために、学校外活動の充実に努める ○PTAは、子どもの人権を尊重し、すべての子どもたちが等しく幸福であることを願い、心身に障がいをもつ子どもたちと共にある教育の実現に努める
258,719	18,701,136	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、心豊かな子どもの育成を目指し、父母と教師の連携を一層強め、社会の変化に対応する活力に満ちた組織・運営を行うことに努める ○わたくしたちは、家庭の教育力の向上を図るとともに、生涯学習の必要性を重視し、PTA会員の研修活動を推進することに努める ○わたくしたちは、家庭・学校・地域社会と連携の絆を強めながら、教育環境の整備・浄化を図り、青少年の健全育成のために努める ○わたくしたちは、学校週五日制実施の中で、その趣旨を理解し、豊かな心とたくましい体をもつ子どもの育成のために体育・文化活動を推進することに努める ○わたくしたちは、子どもの人権、人命を尊重し、すべての子どもたちが等しく幸福であることを願い、心身に障がいをもつ子どもの教育に正しい理解を図り、積極的な協力活動に努める
252,742	17,940,817	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、心豊かなたくましい子どもの育成を目指し、会員相互の意識を高め、活力に満ちた活動の創造に努める ○わたくしたちは、家庭の教育力の充実と強化を図るとともに、生涯学習の必要性を重視し、会員の資質の向上に努める ○わたくしたちは、学校・家庭・地域社会の相互の補完的な役割を明らかにし、教育環境の改善・充実に努め、子どもたちの健全育成に努める ○わたくしたちは、学校週五日制の趣旨を正しく理解し、子どもたちの生活体験活動を豊かなものにするために地域活動の充実に努める ○わたくしたちは、子どもの人権を尊重し、すべての子どもが等しく幸福であることを願い、心身に障がいを持つ子どもの教育に理解を深め、積極的な協力活動に努める

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
7	<ul style="list-style-type: none"> 第43回日本PTA全国研究大会札幌大会 第27回東北ブロック研究大会白石大会 月2回の学校週5日制開始（令和7. 4. 22最初の休業日） 阪神・淡路大震災義援金特別委員会 サッカーくじについて議決書を内閣に提出 	<ul style="list-style-type: none"> 第44回福島県PTA研究大会二本松大会 第16回母親リーダーセミナー 第19回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 母親代表者懇談会開設 県議会政党・教育庁へ予算確保要望 第30回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 第3回小中学校別PTA懇談会
8	<ul style="list-style-type: none"> 第44回日本PTA全国研究大会名古屋大会 第28回東北ブロック研究大会青森大会 スポーツ振興くじ反対問題について要望書提出 病原性O-157による食中毒に対する今後の対応について通知（文部省） 	<ul style="list-style-type: none"> 第45回福島県PTA研究大会郡山大会 第17回母親リーダーセミナー 第20回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 第2回母親代表者懇談会 第4回小中学校別PTA懇談会 県議会政党・教育庁への予算確保要望 第31回福島県小中学校PTA広報紙コンクール テレホンクラブ等についての有害環境浄化対策に関する県条例制定陳情（条例制定10月）
9	<ul style="list-style-type: none"> 第45回日本PTA全国研究大会大分大会 第29回東北ブロック研究大会秋田大会 通学区域制度の弾力的運用について通知（文部省） 青少年の覚醒剤等の薬物乱用防止について通知（文部省） スポーツ振興投票法案について陳情・要望書提出 米飯給食用補助金について関係大臣に陳情 中学校教育50周年記念式典 	<ul style="list-style-type: none"> 第46回福島県PTA研究大会いわき大会 第18回母親リーダーセミナー 第21回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 第3回母親代表者懇談会 第5回小中学校別PTA懇談会 県議会政党へ次年度予算確保陳情 第32回福島県小中学校PTA広報紙コンクール スポーツ振興投票法案（サッカーくじ）反対署名運動 ナイフによる事件発生についての緊急アピールを行う 学校給食用自主流通米に対する国庫補助廃止反対署名運動
10	<ul style="list-style-type: none"> 第46回日本PTA全国研究大会神戸大会 第30回東北ブロック研究大会天童大会 青少年のナイフ等を使用した事件に関する教育団体への要請 スポーツ振興投票の実施等に関する法律公布 スポーツ振興投票の実施等に関する省令制定等に当たっての要請願書提出 テレビメディアの資質向上に関する要請書提出 コンビニエンスストアにおけるサッカーくじ販売の排除について 日本PTA創立50周年記念式典 	<ul style="list-style-type: none"> 第47回福島県PTA研究大会喜多方・塩川大会 第19回母親リーダーセミナー 第22回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 第4回母親代表者懇談会 第6回小中学校別PTA懇談会 県議会各派へ要望書提出 県教育長との懇談（要望含む） 第33回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 会則一部改訂 副会長1名増-県中学校長会長を充てる 事務局長-事務長を充てる 総務部長を新たに設ける 安全互助会Cコースを新設する（賠償付）

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
248,475	18,065,230	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、社会の変化に主体的に対応し、未来をひらく心豊かでたくましい子どもの育成を目指し、活力と創造性に満ちたPTA運営に努める ○わたくしたちは、家庭の教育力の充実・強化を図るために生涯学習の一環としての研修活動を充実させ、会員の資質の向上に努める ○わたくしたちは、学校・家庭・地域社会相互の連携を深め、各々の果たすべき役割を明確にし教育環境の改善・充実を図り、子どもの健全育成に努める ○わたくしたちは、学校週五日制の趣旨を正しく理解し、心豊かでたくましい子どもを育成するため、地域での生活体験活動の充実に努める ○わたくしたちは、子どもの人権を尊重し、すべての子どもが等しく幸福であることを願うとともに、心身に障がいを持つ子どもの教育に理解を深め、積極的な協力活動に努める
244,051	17,272,981	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、子どもの幸せを願う父母と教師の会であることの原点に立ち、家庭・学校・地域相互の連携を一層深めるため、活気あふれるPTA活動の推進に努める ○わたくしたちは、家庭のもつ教育的な役割を認識し、PTA活動を生涯学習の一環としてうけとめ、望ましい家庭教育の充実に努める ○わたくしたちは、地域社会における役割を自覚し、関係諸機関との連携のもと、青少年健全育成のため、地域の教育向上に努める ○わたくしたちは、障がいをもつ子どもに対する正しい理解をもち、障がい者と共に歩む社会の現実をめざすPTA活動に努める ○わたくしたちは、人命と人権を尊重するとともに、郷土を愛し、世界にはばたく子どもを育むPTA活動に努める
237,353	17,161,030	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、21世紀を担う子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育むことをめざし、活気溢れるPTA活動の推進に努める ○わたくしたちは、家庭教育の重要性を認識し、家庭における教育力の向上に努めるとともに、生涯学習の立場に立って、自らの研修を行い人格を高めるようなPTA活動に努める ○わたくしたちは、地域社会における青少年健全育成の要として、学校・家庭・地域社会と一層の連携を図り、協力して子どもをとりまく生活環境の浄化と改善に努める ○わたくしたちは、生命尊重の根本精神のもとに子どもの人権を重んじ、子どもをめぐる「いじめ」の追放と、心身に障がいのある子どもに対する理解を図るとともに、一人一人の特性に応じた教育が行われるようPTA活動に努める ○わたくしたちは、平和的な国家及び社会の形成者として、すべての子どもたちが等しく幸福であるような国際社会の創造に積極的に取り組むPTA活動に努める
230,665	16,744,031	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、夢あふれる未来社会とするために、子どもと共に新世紀の扉を開くPTA活動に努める ○わたくしたちは、家庭教育の重要性を認識し、家庭における教育力の向上に努めるとともに、生涯学習の大切さを考え、会員一人一人が自己実現を目指し、ともに伸びるPTA活動に努める ○わたくしたちは、地域社会における青少年健全育成の要として、家庭・地域・学校のより一層の連携を図り、子どもをとりまく生活環境の浄化と改善にむけたPTA活動に努める ○わたくしたちは、生命尊重の根本精神のもとに子どもの人権を重んじ、子どもをめぐる「いじめ」の追放と、心身に障がいのある子どもの教育環境・充実を図るとともに一人一人の特性に応じた教育を目指すPTA活動に努める ○わたくしたちは、平和的な国家及び社会の形成者として、すべての子どもたちが等しく幸福であるような国際社会の創造に積極的に取り組むPTA活動に努める

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
11	<ul style="list-style-type: none"> 第47回日本PTA全国研究大会愛媛大会 第31回東北ブロック研究大会相馬大会 「学校と家庭・地域の架け橋PTA連携をどう進めるのか」発行 インターネット回線導入 県Pホームページの開設 	<ul style="list-style-type: none"> 第48回福島県PTA研究大会相馬大会（東北大会と兼ねる） 第20回母親リーダーセミナー 第23回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 第5回母親代表者懇談会 県議会各派へ要望書提出 県教育長との懇談（要望含む） 第34回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 11年度より会費を6円上げて20円とする
12	<ul style="list-style-type: none"> 第48回日本PTA全国研究大会山梨大会 第32回東北ブロック研究大会仙台大会 PTA事例実践集16「新しいPTA活動への取り組み－学校支援のボランティア活動－」作成配布 文部省、学校評議員制度、校長、教頭の資格要件の緩和、職員会議の位置付けの明確化を盛り込んだ学校教育法施行規則等の一部を省令改正 中央教育審議会、「少子化と教育について」報告 児童虐待の防止等に関する法律公布 文部省、IT戦略本部設置 「教育改革国民会議－教育を変える17の提案－」報告 	<ul style="list-style-type: none"> 第49回福島県PTA研究大会白河大会 第6回母親代表者懇談会（母親リーダーセミナーを廃止し、参加人数をふやすとともに小中別懇談会とする） 第24回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 県議会各派へ要望書提出 県教育長との懇談（要望含む） 第35回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
13	<ul style="list-style-type: none"> 第49回日本PTA全国研究大会秋田大会 第33回東北ブロック研究大会秋田大会（全国大会と兼ねる） 中央省庁再編により文部省と科学技術庁が統合して文部科学省になる 子どもの読書活動の推進に関する法律公布 	<ul style="list-style-type: none"> 第50回福島県PTA研究大会会津若松大会 第9回小中学校別懇談会 第7回母親代表者懇談会 第25回子どもの災害事故防止ポスター・習字作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望の提出 第36回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 県PTA連合会創設五十周年記念事業実施 創立50周年記念式典・記念講演（11/6） 『創立五十周年記念誌「歩」』発刊
14	<ul style="list-style-type: none"> 第50回日本PTA全国研究大会埼玉大会 第34回東北ブロック研究大会盛岡大会 「義務教育費国庫負担制度の堅持」要望を関係機関に提出 文部科学省、「心のノート」を全国の小・中学校に配布 完全学校週5日制実施 文部科学省、「学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル」発表 	<ul style="list-style-type: none"> 第51回福島県PTA研究大会福島大会 第10回小中学校別懇談会 第8回母親代表者懇談会 第26回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第37回福島県小中学校PTA広報紙コンクール

2 章

1. 県PTA躍進の沿革

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
225,411	17,983,635	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、心の教育を中心とした家庭教育の重要性を再認識し、家庭や地域における教育力のより一層の向上に努める ○わたくしたちは、生涯学習社会の中、新世紀を担う子どもの親として意識と資質の向上を図り、人も自分も大切にして、共に学んで活動するPTA創りに努める ○わたくしたちは、地域社会における青少年健全育成の要として、家庭・地域・学校のより一層の連携を深め、子どもをとりまく生活環境の浄化と改善にむけたPTA活動に努める ○わたくしたちは、生命・人権尊重の根本方針のもとに子どもの権利を重んじ、子どもをめぐる「いじめ」や「家庭での虐待」と言った反社会的行為の追放をめざすPTA活動に努める ○わたくしたちは、障がいのある子どもの教育環境の整備・充実を図ると共に、一人一人の特性と個性に応じた教育を推進するPTA活動に努める
219,275	19,910,171	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、子どもの夢と生きる力がみなぎる社会とするために、力を合わせ積極的なPTA活動の推進に努める ○わたくしたちは、家庭教育の重要性を認識し、家庭における教育力の向上に努めるとともに、自己の研修に励み、ともに伸びるPTA活動に努める ○わたくしたちは、地域社会における青少年健全育成の要として、家庭・地域・学校のより一層の連携を図り、一致団結し子どもをとりまく教育環境の改善に向けたPTA活動の推進に努める ○わたくしたちは、生命尊重の根本精神のもとに子どもの人権を重んじ、心身に障がいのある子どもの教育環境整備・充実を図るとともに、一人一人の個性に応じた教育を推進するPTA活動に努める ○わたくしたちは、平和的な国家及び社会の形成者として、すべての子どもたちが等しく幸福であるような国際社会の創造に積極的に取り組むPTA活動に努める
214,199	19,066,330	<ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちは、子どもの夢と希望があふれる社会の構築のため、力をあわせて積極的なPTA活動の推進に努めます。 ○わたしたちは、家庭教育の重要性を再認識し、生きる力を育むための家庭の果たす役割について研修に励み、家庭の教育力向上を図るPTA活動に努めます。 ○わたしたちは、完全学校週5日制の趣旨を正しくうけとめ、家庭・地域・学校が一致団結して、青少年の健全育成を図るため、子どもをとりまく環境の改善に向けた活動の推進に努めます。 ○わたしたちは、子どもの安全確保のため、教育環境の整備・充実を図るとともに、より一層地域に開かれた学校づくりを支えるPTA活動に努めます。 ○わたしたちは、子どもの人権を重んじ、心身に障がいのある子どもたちとも、共に育つ社会の実現を図るとともに、子どもたちの体験を豊かにするPTA活動に努めます。 ○わたしたちは、IT活用に伴う倫理と可能性について研修し、平和的な国家社会の形成者としてすべての、子どもたちが真に幸福である国際社会の創造をめざすPTA活動の推進に努めます。
206,855	19,669,178	<ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちは、子どもが将来にわたって自分の夢が実現できる環境づくりのため、力をあわせて積極的なPTA活動の推進に努めます。 ○わたしたちは、「教育の原点は家庭にある」ことを自覚し、子どもたちの「生きる力」を育むPTA活動の推進に努めます。 ○わたしたちは、完全学校週5日制のもと、子どもたちの健全育成のため、家庭・学校地域の融合を図り、教育環境の改善に向けたPTA活動の推進に努めます。 ○わたしたちは、障がいのある人々とともに生きる社会の実現を目指し、子どもたちの体験を豊かにするPTA活動の推進に努めます。 ○わたしたちは、男女共生の理念に基づき、具体的に実践するPTA活動の推進に努めます。

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
15	<ul style="list-style-type: none"> 第51回日本PTA全国研究大会鳥取大会 第35回東北ブロック研究大会石巻大会 日本PTA55周年記念式典の実施 優良・功労者表彰の実施 個人情報の保護に関する法律公布 国立大学法人法公布 	<ul style="list-style-type: none"> 第52回福島県PTA研究大会原町大会 第11回小中学校別懇談会 第9回母親代表者懇談会 第27回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第38回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
16	<ul style="list-style-type: none"> 第52回日本PTA全国研究大会北海道大雪圏大会 第36回東北ブロック研究大会陸奥大会 「義務教育費国庫負担制度の堅持」を全国大会で緊急アピール 「義務教育費国庫負担制度の堅持」要望を関係機関に提出 児童虐待防止のための地域におけるPTA活動の在り方に関する調査研究とシンポジウム 「義務教育費国庫負担制度の堅持」要望を関係機関に提出 	<ul style="list-style-type: none"> 第53回福島県PTA研究大会須賀川大会 第12回小中学校別懇談会 第10回母親代表者懇談会 第28回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第39回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
17	<ul style="list-style-type: none"> 第53回日本PTA全国研究大会愛知大会 第37回東北ブロック研究大会北村山大会 - 「有害図書から子どもを守ろう緊急アピール 「広島県及び栃木県における女児殺傷事件について」緊急アピール 	<ul style="list-style-type: none"> 第54回福島県PTA研究大会二本松大会 県P研究大会の補助金を200万円とする。 第13回小中学校別懇談会 第11回母親代表者懇談会 第29回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第40回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 安全互助会補償コース名変更（ABC→I、II、III）
18	<ul style="list-style-type: none"> 第54回日本PTA全国研究大会宮崎大会 第38回東北ブロック研究大会郡山大会 「いじめ根絶と命の大切さを訴える」緊急アピール 「保険業法の一部改正に伴う政令案への意見」を関係官庁に提出 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会設立 改正教育基本法公布・施行 	<ul style="list-style-type: none"> 第55回福島県PTA研究大会郡山大会（東北大会と兼ねる） 第14回小中学校別懇談会 第12回母親代表者懇談会 第30回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第41回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 安全互助会加入申込み3月中旬に変更
19	<ul style="list-style-type: none"> 第55回日本PTA全国研究大会滋賀びわこ大会 第39回東北ブロック研究大会仙台大会 PTAが行う共催事業を保険業法の適用から除外することについて」の要望を提出 「学校教育法等の一部を改正する法律」施行（盲・聾・養護学校の制度から特別支援学校の制度への転換等） 全国学力・学習状況調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第56回福島県PTA研究大会いわき大会 第15回小中学校別懇談会 第13回母親代表者懇談会 第31回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出（懇談時間が、これまでの30分間から1時間となる） 第42回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 会費値上げ（児童生徒一人当たり20円→30円に） PTA安全互助会の会費納入に、口座振替による引落としを導入するための準備 19年度より会費を10円上げて30円とする

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
203,994	21,918,489	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、子どもたちが自分の夢と希望を実現できる環境づくりのため、積極的なPTA活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、子どもの人権を尊重し、社会規範を重んじ、他人を思いやる「心の教育」の推進に努めます。 ○わたくしたちは、家庭や地域の教育力を高めるために、意欲をもって参加できるPTA活動を推推し、会員の資質向上を図る研修に努めます。 ○わたくしたちは、生活・社会・自然体験などを通して、子どもたちの「生きる力」を育むPTA活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、子どもたちが特別な支援を必要とする人との交流を通して理解を深め、共に生きる社会の実現を目指すPTA活動の推進に努めます。
198,184	21,115,859	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、会員一人一人の意識の向上とPTA活動の活性化を図るため、関係諸機関や団体と積極的に連携したPTA活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、社会の変化やニーズに対応できるよう、絶えず自己の研修に励み、ともに伸びゆくPTA活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、子どもたち一人一人の「生きる力」を育むため、家庭や地域の教育力向上を目指すPTA活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、子どもたちの安全を守るため、家庭・地域・学校の三者が連携し、危機管理体制の整備・充実など具体的なPTA活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、特別な支援を必要としている人々との交流を通し、共に生きる社会の実現を図るとともに、子どもたちの豊かな心を育むためのPTA活動の推進に努めます。
195,976	21,741,234	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、会員一人一人の意識の向上とPTA活動の活性化を図るため、関係諸機関や団体との連携を密にし、積極的な活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、社会の変化やニーズに対応できるよう、絶えず自己の研鑽に励み、共に伸びゆくPTA活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、子どもたち一人一人の「生きる力」を育むため、家庭や地域の教育力の向上を目指すPTA活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、子どもたちの安全を確保するため、家庭・地域・学校の三者が連携し、危機管理体制の整備・充実を目指し、具体的なPTA活動の推進に努めます。 ○わたくしたちは、特別に支援を必要としている人々との交流を通し、共に生きる社会の実現を図るとともに、子どもたちの豊かな心を育むためのPTA活動の推進に努めます。
192,391	22,357,965	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、子どもの幸せを願う保護者と教師の会であることの原点に立ち、家庭、学校、地域相互の連携を一層深めるため、活気あふれるPTA活動に努めます。 ○わたくしたちは、家庭のもつ教育的な役割を認識し、PTA活動を生涯学習の一環として受け止め、望ましい家庭教育の充実に努めます。 ○わたくしたちは、地域社会における役割を自覚し、関係諸機関との連携のもと、心身ともに健全な子どもたちの育成のため、地域の教育力向上に努めます。 ○わたくしたちは、ノーマライゼーションの精神を重視し、すべての人々が共に歩む共生の社会の実現をめざすPTA活動に努めます。 ○わたくしたちは、生命と人権を尊重するとともに、郷土を愛し、世界にはばたく子どもを育むPTA活動に努めます。
188,907	23,660,567	<ul style="list-style-type: none"> ○わたくしたちは、会員一人一人の参画意識を高めるとともに、PTA活動の活性化を図るため、会員相互が力を合わせて積極的な活動を推進します。 ○わたくしたちは、児童生徒たちが将来自分の夢を実現できる、健康な心と体を育むPTA活動を推進します。 ○わたくしたちは、家庭の持つ教育的な役割を認識し、望ましい家庭教育の充実にため、教育力の向上をめざしたPTA活動を推進します。 ○わたくしたちは、児童生徒たちの安全を確保するため、家庭・地域・学校が連携し、危機管理体制の整備・充実をめざした具体的なPTA活動を推進します。 ○わたくしたちは、特別に支援を必要とする人々との交流を通し、理解を深め、すべての人々が共に学ぶ環境づくりをめざしたPTA活動を推進します。 ○わたくしたちは、児童生徒たちが思いやりをもち、友だちと仲良く生活でき、いじめのない環境づくりをめざしたPTA活動を推進します。

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
20	<ul style="list-style-type: none"> 第56回日本PTA全国研究大会香川讃岐路大会 第40回東北ブロック研究大会盛岡大会 日本PTA創立60周年記念式典の実施 日本PTA会費の値上げが総会で承認（平成23年度より） 中央教育審議会、「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取り組みを進めるための方策について」答申 文部科学省・厚生労働省、「認定子ども園の普及促進について」公表 	<ul style="list-style-type: none"> 第57回福島県PTA研究大会喜多方大会（1日開催） 第16回小中学校別懇談会 第14回母親代表者懇談会 第32回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第43回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 県PTA研究大会開催地のローテーションが承認される。（平成24年第61回大会より新たな開催地割り当てとなる。） PTA安全互助会の会費納入に、口座振替による引落とし導入（6月5日引落とし）
21	<ul style="list-style-type: none"> 第57回日本PTA全国研究大会宮城大会（兼第41回東北ブロック研究大会宮城大会） 教員免許更新制の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 第58回福島県PTA研究大会相馬大会 第17回小中学校別懇談会（今年度より、小中別を外す） 第15回母親代表者懇談会 第33回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第44回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
22	<ul style="list-style-type: none"> 第58回日本PTA全国研究大会千葉大会 第42回東北ブロック研究大会八戸 「PTA・青少年教育団体共済法」公布 	<ul style="list-style-type: none"> 第59回福島県PTA研究大会白河大会（1日開催） 第18回小中学校別懇談会 第16回母親代表者懇談会 第34回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第45回福島県小中学校PTA広報紙コンクール PTA安全互助会の保険金請求のシステム変更（請求者↔保険会社） 「PTA共済の制度共済化の早期実施について」の要望書を文部科学大臣に提出
23	<ul style="list-style-type: none"> 第59回日本PTA全国研究大会広島大会 第43回東北ブロック研究大会秋田大会 東日本大震災 	<ul style="list-style-type: none"> 第19回小中学校別懇談会 第17回母親代表者懇談会 第35回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第46回福島県小中学校PTA広報紙コンクール

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
186,238	23,359,282	<p>○わたくしたちは、子どもたちの健全な育成のためのPTA活動という原点に返り、会員一人一人の意識改革と、組織及び活動内容の見直しを進め、共に成長できるPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、子どもたちの心と健やかな成長を図るため、メディア問題の積極的な研修に努め、健全な情報化社会の確立と有害情報の規制強化を求めるPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、家庭における心と心のふれあいを大切にし、望ましい人間関係づくりや生活習慣づくりの基礎をはぐくむ、家庭の教育力の向上をめざしたPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、子どもたちの健全育成や非行防止、安全・安心の確保のため、地域や関係機関と連携し、実行力のある具体的なPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、特別に支援を必要とする人々との交流や理解を深め、すべての人々が共に生きる喜びに満ちた社会づくりをめざしたPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、子どもたちが社会の一員としての自覚と思いやりをもち、新しい時代をたくましく生きるための社会性と人間性をはぐくむ体験活動を積極的に推進します。</p>
182,915	22,938,285	<p>○わたくしたちは、子どもの健全な育成のために、会員一人一人の意識改革と組織及び活動内容の見直しを進め、地域と連携を図るPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、急速に変化している情報化社会の中で、子どもたちが犯罪やいじめに巻き込まれないで安心して過ごすことができる社会環境の整備のために、地域社会と連携したPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、家庭の果たす役割を再認識し、子どもたちに基本的な生活習慣を身につけさせ、家庭の教育力の向上をめざしたPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、特別な支援を必要とする子どもたちのために、すべての人々が共に生きる喜びに満ちた社会づくりをめざしたPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、子どもたちが社会の一員としての自覚と思いやりをもち、新しい時代をたくましく生きるために、社会環境や教育改革の変化に即応できるPTA活動を推進します。</p>
179,066	19,787,566	<p>○わたくしたちは、子どもたちにとって健全な成長をはぐくむPTA活動となるよう、会員相互が力を合わせ、活動内容を見直し、それに基づいた実践を進め、共に成長するPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、子どもたちを取り巻く多くの問題に対して理解を深め、子どもたちの健全育成や非行防止に努めるとともに、安全確保のために、家庭・地域・学校が連携し、実効のあるPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、家庭が子どもたちの健康な心と体をはぐくみ、望ましい生活習慣づくりの場であることを再認識し、家庭の教育力の向上をめざしたPTA活動を推進します。</p> <p>○わたくしたちは、子どもの望ましい社会性と人間性が、地域に根ざした深い教育力のもとではぐくまれることを再認識し、そのための体験活動を重視した地域ネットワーク作りに励み、子どもたちにとってより良い生活環境づくりをめざしたPTA活動を推進します。</p>
160,457	18,405,542	東日本大震災のため福島県PTA研究大会は中止

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
24	<ul style="list-style-type: none"> 第60回日本PTA全国研究大会京都大会 第44回東北ブロック研究大会酒田・飽海大会 「消費者教育の推進に関する法律」施行 	<ul style="list-style-type: none"> 第60回福島県PTA研究大会会津若松大会 第20回小中学校別懇談会 第18回母親代表者懇談会 第36回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第47回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 24年度より会費を10円上げて40円とする
25	<ul style="list-style-type: none"> 第61回日本PTA全国研究大会三重大会 第45回東北ブロック研究大会福島大会 いじめ防止対策推進法公布 福島・水俣中学生交流事業（12月21日～12月24日）（水俣市・熊本市） 	<ul style="list-style-type: none"> 第61回福島県PTA研究大会福島大会（東北大会と兼ねる） 第21回小中学校別懇談会 第19回母親代表者懇談会 第37回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第48回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
26	<ul style="list-style-type: none"> 第62回日本PTA全国研究大会長崎大会 第46回東北ブロック研究大会盛岡大会 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」公布 中央教育審議会、「道徳に係る教育課程の改善等について」答申 福島・水俣中学生交流事業（10月31日～11月3日）（福島市・県内各地） 	<ul style="list-style-type: none"> 第62回福島県PTA研究大会須賀川大会 第22回小中学校別懇談会 第20回母親代表者懇談会 第38回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 県議会各派への要望書の提出 第49回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
27	<ul style="list-style-type: none"> 第63回日本PTA全国研究大会札幌大会 第47回東北ブロック研究大会亶理・山元大会 中央教育審議会、「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」答申 中央教育審議会、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」答申 福島・水俣中学生交流事業（12月23日～12月26日）（水俣市・熊本市） 「福島は歩みだす」発行（福島・水俣交流事業記録集） 	<ul style="list-style-type: none"> 第63回福島県PTA研究大会二本松大会 第23回小中学校別懇談会 第21回母親代表者懇談会 第39回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 第50回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
28	<ul style="list-style-type: none"> 第64回日本PTA全国研究大会徳島大会 第48回東北ブロック研究大会弘前大会 「24時間子供（こども）SOSダイヤル」無料化 福島・水俣中学生交流事業（7月28日～7月31日）（福島市・県内各地） 	<ul style="list-style-type: none"> 第64回福島県PTA研究大会郡山大会 第24回小中学校別懇談会 第22回母親代表者懇談会 第40回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談（要望を含む） 第51回福島県小中学校PTA広報紙コンクール

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
159,883	19,970,984	<ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちは、会員一人一人が「絆」を合い言葉に、子どもたちと共に成長できるPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたちの健全な成長を促すため、活動内容を改善し、実践をととして主体的なPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたちの心身共に健康で健やかな成長を見守るため、地域、家庭が、望ましい生活習慣づくりの場であることを認識し、地域、家庭の教育の向上を目指したPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたちをとりまく多くの課題に対して理解を深め、その課題を解決するため、地域、家庭、学校が連携し、実践力あるPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、特別に支援を必要としている人々との交流や理解を深め、共に学び、共に幸福を実感できる環境づくりをめざしたPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたち望ましい社会性と人間性がはぐくまれるよう「生きる力」を身につけさせるための体験の場が、地域、家庭であることを認識し、新たなより良い生活環境づくりをめざしたPTA活動を推進します。
157,345	19,016,266	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちは、子どもの心身の健康と幸福を心から願い、PTA活動を推進します。 ○私たちは、家庭教育の充実を目指すため、基本的な生活習慣や規範意識を大切にPTA活動を推進します。 ○私たちは、家庭・学校・地域の架け橋になることを願い、連携を密にしたPTA活動を推進します。 ○私たちは、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により被災した子ども、保護者、PTA及び学校を支援し、「東北は一つ」の思いを強くしたPTA活動を推進します。
153,392	19,472,266	<ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちは、すべての会員の意識の向上とPTA活動の活性化を図るため、会員相互が力を合わせ、関係諸機関や団体と積極的に連携したPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、社会の変化や要望に対応できるよう、絶えず自己の研修に励み、子どもたちと共に伸びゆくPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたちが将来自分の夢を実現できる、健康な心と体をはぐくむPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたちを取巻く多くの問題に対して理解を深め、子どもたちの健全育成や非行防止に努めるとともに、安全確保のために、家庭・地域・学校が連携したPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、特別な支援を必要としている子どもたちの理解を深め、共に生きる社会の実現を図るとともに、子どもたちの豊かな心をはぐくむためのPTA活動を推進します。
150,011	19,653,674	<ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちは、すべての会員の意識の向上とPTA活動の活性化を図るため、会員相互が力を合わせ、関係諸機関や団体と積極的に連携したPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、社会の変化や要望に対応できるよう、絶えず自己の研修に励み、子どもたちと共に伸びゆくPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたちが将来自分の夢を実現できる、健康な心と体をはぐくむPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたちを取巻く多くの問題に対して理解を深め、子どもたちの健全育成や非行防止に努めるとともに、安全確保のために、家庭・地域・学校が連携したPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、特別な支援を必要としている子どもたちの理解を深め、共に生きる社会の実現を図るとともに、子どもたちの豊かな心をはぐくむためのPTA活動を推進します。
146,395	20,626,876	<ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちは、すべての会員の意識の向上とPTA活動の活性化を図るため、会員相互が力を合わせ、関係諸機関や団体と積極的に連携したPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、社会の変化や要望に対応できるよう、絶えず自己の研修に励み、子どもたちと共に伸びゆくPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたちが将来自分の夢を実現できる、健康な心と体をはぐくむPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、子どもたちを取り巻く多くの問題に対して理解を深め、子どもたちの健全育成や非行防止に努めるとともに、安全確保のために、家庭・地域・学校が連携したPTA活動を推進します。 ○わたしたちは、特別な支援を必要としている子どもたちの理解を深め、共に生きる社会の実現を図るとともに、子どもたちの豊かな心をはぐくむためのPTA活動を推進します。

年度	P T A 年 表	県 P T A 年 表
29	<ul style="list-style-type: none"> 第65回日本PTA全国研究大会仙台大会 (兼第49回東北ブロック研究大会仙台大会) 「義務教育諸学校等の体制の充実及び運営の改善を図るための公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律等の一部を改正する法律」公布 福島・水俣中学生交流事業(11月3日～11月5日)(4年間の参加者代表の集い)(郡山市) 「未来への懸け橋」発行(福島・水俣中学生交流事業の軌跡) 	<ul style="list-style-type: none"> 第65回福島県PTA研究大会いわき大会 第25回小中学校別懇談会 第23回母親代表者懇談会 第41回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談(要望を含む) 第52回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
30	<ul style="list-style-type: none"> 第66回日本PTA全国研究大会新潟大会 第50回東北ブロック研究大会秋田大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第66回福島県PTA研究大会喜多方大会 第26回小中学校別懇談会 第24回母親代表者懇談会 第42回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談(要望を含む) 第53回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
令和1	<ul style="list-style-type: none"> 第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会 第51回東北ブロック研究大会南陽・東置賜大会 	<ul style="list-style-type: none"> 第67回福島県PTA研究大会南相馬大会 第27回小中学校別懇談会 第25回母親代表者懇談会 第43回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談(要望を含む) 第54回福島県小中学校PTA広報紙コンクール
2	<ul style="list-style-type: none"> 第68回日本PTA全国研究大会富山大会→中止 第52回東北ブロック研究大会会津若松大会→中止 	<ul style="list-style-type: none"> 第68回福島県PTA研究大会会津若松大会→中止 第44回子ども災害事故防止習字・ポスター作品展 県教育長との懇談(要望を含む) 第55回福島県小中学校PTA広報紙コンクール 2年度より会費を30円上げて70円とする 「ふくしまっ子子ども総合補償制度」(保護者任意加入の補償制度)を令和3年度から導入することを決定

学童数	予 算	県 大 会 建 議 題
142,752	20,587,331	<p>○わたしたちは、すべての会員の意識の向上とPTA活動の活性化を図るため、会員相互が力を合わせ、関係諸機関や団体と積極的に連携したPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、社会の変化や要望に対応できるよう、絶えず自己の研修に励み、子どもたちと共に伸びゆくPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、子どもたちが将来自分の夢を実現できる、健康な心と体をはぐくむPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、子どもたちを取り巻く多くの問題に対して理解を深め、子どもたちの健全育成や非行防止に努めるとともに、安全確保のために、家庭・地域・学校が連携したPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、特別な支援を必要としている子どもたちの理解を深め、共に生きる社会の実現を図るとともに、子どもたちの豊かな心をはぐくむためのPTA活動を推進します。</p>
139,025	19,350,909	<p>○わたしたちは、すべての会員の意識の向上とPTA活動の活性化を図るため、会員相互が力を合わせ、関係諸機関や団体と積極的に連携したPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、社会の変化や要望に対応できるよう、絶えず自己の研修に励み、子どもたちと共に伸びゆくPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、子どもたちが将来自分の夢を実現できる、健康な心と体をはぐくむPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、子どもたちを取り巻く多くの問題に対して理解を深め、子どもたちの健全育成や非行防止に努めるとともに、安全確保のために、家庭・地域・学校が連携したPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、特別な支援を必要としている子どもたちの理解を深め、共に生きる社会の実現を図るとともに、子どもたちの豊かな心をはぐくむためのPTA活動を推進します。</p>
135,448	19,985,302	<p>○わたしたちは、すべての会員の意識の向上とPTA活動の活性化を図るため、会員相互が力を合わせ、関係諸機関や団体と積極的に連携したPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、社会の変化や要望に対応できるよう、絶えず自己の研修に励み、子どもたちと共に伸びゆくPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、子どもたちが将来自分の夢を実現できる、健康な心と体をはぐくむPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、子どもたちを取り巻く多くの問題に対して理解を深め、子どもたちの健全育成や非行防止に努めるとともに、安全確保のために、家庭・地域・学校が連携したPTA活動を推進します。</p> <p>○わたしたちは、特別な支援を必要としている子どもたちの理解を深め、共に生きる社会の実現を図るとともに、子どもたちの豊かな心をはぐくむためのPTA活動を推進します。</p>
133,642	22,528,266	<p>○子どもたちが一人一人の希望や夢を実現できるPTA活動を推進します。</p> <p>○心身ともに健康で豊かな心を育むPTA活動を推進します。</p> <p>○子どもたちの大切な命や人権を守るPTA活動を推進します。</p>

2. 県PTA研究大会の記録

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
1	福島	昭和 27. 5. 10	福島市立 福島第一小学校			
2	郡山	28. 7. 21	郡山市			
3	若松	29. 9. 17	会津若松市			
4	平	30. 9. 9	平市公会堂			
5	白河	31. 9. 8	白河市			
6	福島	32. 9. 14	福島市立 福島第一小学校			
7	郡山	33. 10. 7	郡山市市民会館			
8	いわき	34. 7. 25	いわき市 県立小名浜高校	1,868人	議題 1. 学級編制と教職員定数について 2. 小・中学校の施設設備の充実について 3. 学校給食について 4. 高等学校生徒の募集定員増加について	
9	若松	35. 7. 27	会津若松市 市民会館	1,956人	1. PTAの運営について 2. 教育条件の整備について (小学校) 3. 教育条件の整備について (中学校) 4. 児童の生活指導について (小学校) 5. 生徒の生活指導について (中学校) 6. PTAの研修について	
10	二本松	36. 10. 30	二本松市立 二本松中学校	2,196人	1. 社会環境について 2. 校外指導について 3. 安全教育について 4. 給食について 5. 進路指導について 6. 研修について 7. 組織・運営について (小・中別12分科会)	「父と母と子」 堀 秀彦 氏
11	相馬	37. 7. 17	相馬市立 桜ヶ丘小学校	2,056人	1. 社会環境整備のために、PTAはどのような活動をしたらよいか。 2. 校外生活について、PTAはどのように活動したらよいか。 3. 児童の安全を守るために、PTAはどのように努力したらよいか。 4. 学校給食の推進を図るため、PTAはどのように協力したらよいか。 5. 会員の教育的識見を高めるための研修は、どのように展開したらよいか。 6. PTAの目的を達するためのよりよい組織と運営はどうあるべきか。 7. 子どもの学力を高めるために、PTAはどのような活動を展開したらよいか。 8. 生徒の進路指導について、PTAはどのように協力したらよいか。	

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
12	須賀川	38. 11. 10	須賀川市体育館	約2,500人	○社会環境をはじめ、8分科会において討議研究	
13	若松	39. 9. 24	会津若松市公民会館	1,968人	1. PTAの目的達成のための、組織や運営はどうあるべきか。 2. 会員の成人教育活動を促進するためには、どうしたらよいか。 3. 青少年の生活指導、校外補導について、PTAはどのように活動したらよいか。 4. 児童・生徒の安全を守るために、PTAはどのように協力したらよいか。 5. 社会環境整備のために、PTAはどのように活動したらよいか。 6. 子どもの学力向上のために、PTAはどう活動したらよいか。 7. 学校給食の推進について、PTAはどのように協力したらよいか。 8. 生徒の進路指導について、PTAはどのように協力したらよいか。	
14	福島	40. 10. 5	福島県営体育館	約5,000人	1. 議題として、義務教育諸学校の教育費を大幅に増大し、PTAの負担軽減を図りたい外、第4号議案決議。 2. 教育研究 シンポジウム 本県教育の諸問題について。 イ. 本県小中学校教育の諸問題について。 ロ. 本県の青少年対策について。 ハ. 本県の青少年不良化の傾向と保護対策について。	「日本の教育について」 文部省 社会教育局長 宮地 茂 氏
15	平	41. 9. 13	平市市民会館	1,995人	議案 1. 小中学校教育の正常化のため、教職員の増加を図りたい。 2. 第15回福島県PTA大会宣言について。 3. 義務教育諸学校の教育費を大幅に増額し、PTAの負担軽減を図りたい。 4. 児童生徒の安全対策の確立とこれが促進を期せられたい。 5. 特殊学校の新設と教育の養成に配慮されたい。 6. へき地教育対策をより以上に考慮されたい。 7. 子どもの遊び場の新設と児童館の設置促進を図られたい。 8. 小学校修学旅行の宿泊承認を要望したい。	「最近の極東における国際情勢について」 NHK 解説委員 緒方 彰 氏
16	白河	42. 10. 2	白河市市民会館	1,682人	議案 1. 義務教育諸学校の教育費を大幅に増額し、PTA負担軽減を図りたい。 2. 大会宣言について。 3. 小中学校の教職員定数の増加を図られたい。 4. 各種の特殊学校、特殊学級の増設と充実振興を図られたい。 5. 児童生徒の交通安全対策の確立とこれが促進を期せられたい。 6. へき地教育振興対策を図る。	「PTAの今日的課題」 津田塾大学教授 伊藤 昇 氏

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
17	福島	43. 8. 8 ～9	福島県営体育館 〔第16回日本PTA全国研究大会福島大会〕を福島市で開催・東北で最初の開催	約5,000人	<p>○ 第16回全国PTA研究大会福島大会開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (イ) 全国の公費負担軽減の現状分析とその問題点、並びに対策について。 (ロ) PTA活動（特に委員会、学年学級集会）のあり方について。 2. (イ) 時代に即応した成人教育のあり方について。 (ロ) 家庭教育振興と母親・父親の役割について。 3. (イ) 校外生活指導の実情と将来の方向付けについて。 (ロ) 子どもの健全育成のためのマスコミ対策について。 (ハ) 恵まれない子どもの諸問題について。 4. (イ) 栄養基準量の確保と給食費について。 (ロ) 中学校及びへき地校の完全給食の実施について。 (ハ) 給食時における望ましい指導について。 (ニ) 学級給食の義務化促進について。 5. (イ) 基地周辺の教育振興について。 (ロ) 都市工場の公害と交通安全について。 (ハ) 産炭地教育振興について。 6. (イ) へき地教育の理解について。 (ロ) へき地基準の改善について。 (ハ) へき地における恵まれない子どもの諸問題について。 7. (イ) 各地方協議会提出議題について。 	<p>「青少年の誇りと責任」</p> <p>青少年育成 国民会議会長 茅 誠司 氏</p>
18	喜多方	44. 9. 3	喜多方第三中学校	1,508人	<p>議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育施設充実のため、教育予算を大幅に増額し、父母負担の軽減を図ること。 2. 教職員定数の充実を期して、標準法の改正を要望すること。 3. 大会宣言に関すること。 4. へき地教育振興に関すること。 5. 福島県公立高等学校の通学区域を再検討する。 6. 児童生徒を交通事故から守るため、徹底的な交通安全対策を講ずること。 7. 特殊教育の充実促進を図ること。 	
19	郡山	45. 9. 2	郡山市民会館	1,857人	<p>議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 義務教育諸学校の教育費を大幅に増額し、父母負担の軽減を図ること。 2. 教職員の定数を増し、標準法の改正を要望すること。 3. へき地教育振興に関すること。 4. 特殊教育の充実振興を図ること。 5. 幼児教育の振興充実を図ること。 6. 児童生徒の交通安全と健全育成のための組織化を図ること。 7. 公立高校の増設及び学区制の再検討を図ること。 	<p>「青少年問題と子弟の育成」</p> <p>道徳科学研究所 山本 恒次 氏</p>

2 章

2. 県PTA研究大会の記録

回	開催地	年月日	会 場	参加人員	分科会研修課題	講 演
20	相 馬	46. 7. 22	相馬市市民会館	1,591人	議案 1. 教職員の定数を増し、標準法の改正を要望する。 2. 義務教育諸学校の教育費を大幅に増額し、父母負担の軽減を図ること。 3. へき地教育の振興に関すること。 4. 特殊教育の充実振興を図ること。 5. 児童生徒の安全対策の強化を図ること。 6. 地域の実情に即し、公立高等学校の新增設を図ること。 7. 大会宣言に関すること。	「家庭教育の諸問題」 読売新聞社 文化部部長 真下 孝雄 氏
21	二本松	47. 10. 31	二本松市文化センター	1,637人	議案 1. 小・中学校施設設備費等を大幅に増額し、父母負担の軽減を図ること。 2. 公立高等学校普通科の増設又は学級増を要望すること。 3. 小・中学校教育充実のため、教職員の定数確保を要望すること。 4. 小・中学校設置基準制定を速やかに実施するよう要望する。 5. 社会教育の振興と会員の研修の充実を図ること。 6. 児童生徒の交通安全並びに、シンナーボンダ乱用についての対策を強化すること。 7. 大会宣言に関すること。	「人間関係と話し方」 今福 祝 氏
22	若 松	48. 9. 13 ～14	会津若松市 県営会津体育館	1,920人	分科会研修課題 1. PTAの組織・運営は、どのようにしたらよいか。 2. 会員の教養を高める活動はどのようにしたらよいか。 3. 子どもの校外における生活指導はどのようにしたらよいか。	「教育と父母の価値観」 評論家 草柳 大蔵 氏
23	福 島	49. 9. 11 ～12	福島県 文化センター (第6回東北ブロック 研究大会福島大会)	県 1,896人 東北 155人	○第6回東北7県PTA研究大会と兼ねる 1. PTA活動を活発にするためには、どのようにしたらよいか。 2. 会員の教養を高める活動は、どのようにしたらよいか。 3. 情報公害(不良マスコミ)に、どのように対処したらよいか。 4. 子どもの健康安全のために、どのように活動したらよいか。 5. へき地や過疎地域の教育振興のために、どのように協力したらよいか。	「これからの日本と教育」 NHK解説 副委員長 井村 和朗 氏
24	いわき	50. 9. 11 ～12	いわき市 平市民会館	1,867人	1. 現実をふまえ、今後のPTAはどのように活動したらよいか。 2. 生涯教育の一環として、会員の教養を高めるPTA活動は、どのようにしたらよいか。 3. 子どもの健全な成長を図るために、PTAはどのように協力したらよいか。 4. PTAの文化活動は、どのようにすすめてらよいか。 5. へき地や過疎地域の教育振興のために、どのようにしたらよいか。	「激動期における子どもの教育について」 立正女子大学長 小尾 帛雄 氏

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
25	須賀川	51. 9. 10 ～11	須賀川市体育館	1,874人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現実をふまえ、今後のPTAはどのように活動したらよいか。 2. 生涯教育の一環としての会員の教養を高めるPTA活動は、どのようにしたらよいか。 3. 子どもの健全な成長を図るためには、PTAはどのようにしたらよいか。 4. PTAの文化活動は、どのように進めたらよいか。 5. 教育困難地域の教育振興のために、PTAはどのように協力したらよいか。 	「教育と政治」 評論家 草柳 大蔵 氏
26	塩川町	52. 9. 6 ～7	塩川町立 塩川町民体育館	1,981人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現実をふまえ、今後のPTAはどのように活動したらよいか。 2. 会員の教養を高めるため、PTA活動をどのようにしたらよいか。 3. 子どもの健全な成長を図るため、PTA活動はどのような活動を考えなければならないか。 4. PTAの文化活動は、どのように進めたらよいか。 	「戦後の日本の学校と家庭」 東京学芸大学 教授 山口 康助 氏
27	郡山	53. 9. 19 ～20	郡山市市民会館	1,788人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい教育課題をふまえて、これからのPTA活動はどのように活動したらよいか。 2. 会員が積極的に参加する教養活動は、どうあったらよいか。 3. 子どもの健全な成長を図るため、PTAはどのような活動をしたらよいか。 4. PTAの文化活動は、どのように進めたらよいか。 5. 家庭教育の振興を図るために、PTAはどのようにしたらよいか。 6. 教育条件に恵まれない地域の振興を図るため、PTAはどのようにしたらよいか。 	「子どもがほんとうに大切ならば」 評論家 川上 源太郎 氏
28	浪江町 双葉町	54. 10. 21 ～22	双葉町体育館	1,711人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現実をふまえ、これからのPTAはどのように活動したらよいか。 2. 会員の教養を高めるPTA活動を、どのようにしたらよいか。 3. 子どもの健全育成を図るため、PTAはどのように活動したらよいか。 4. PTAは、子どもたちの文化活動をどのように援助したらよいか。 5. 家庭教育の振興を図るために、PTAはどのようにしたらよいか。 	「子どもとわたし」 評論家 俵 萌子 氏
29	白河	55. 10. 19 ～20	白河市市民会館	1,755人	<ol style="list-style-type: none"> 1. PTAの本質をふまえ、充実した活動をするためには、組織活動をどのようにしたらよいか。 2. 会員の教養を高め、よい父母よい教師となるための、PTA活動はどのようにしたらよいか。 3. 家庭教育の充実・振興を図るためのPTA活動は、どうしたらよいか。 4. 子どもの健全育成をめざすPTA活動は、どのように進めたらよいか。 5. PTAは、子どもの豊かな心を育てるための文化活動を、どのように進めたらよいか。 	「八十年代の社会を見る眼」 評論家 草柳 大蔵 氏

回	開催地	年月日	会 場	参加人員	分科会研修課題	講 演
30	福 島	56. 9. 11 ～12	福島市飯坂温泉 福島市民センター (第13回東北ブロック 研究大会福島大会)	2,164人	○第13回東北PTA研究大会福島大会 1. 創造的な活動を展開するための、組織・運営のあり方を考えよう。 2. これからの教育のあり方を考え、それに対応する研修活動を進めよう。 3. 新しいコミュニティづくりをめざすPTA活動を進めよう。 4. PTAの文化活動のあり方を考え、その活動を進めよう。 5. 健全育成のための安全確保と環境の浄化を進めよう。 6. たくましい子どもを育てる校外活動を進めよう。 7. 心身障がいをもつ子どもの教育を、どう理解し、協力するか考えよう。	「この生命燃ゆる限り」 車椅子からみる私の人生 作家 大石 邦子 氏
31	若 松	57. 9. 17 ～18	県営会津体育館	2,116人	1. 創造的な活動を積極的に展開するための組織・運営のあり方をどのように考えたらよいか。 2. 会員の教養を高める研修活動をどのように展開すればよいか。 3. 子どもの健全な育成を図るための家庭教育をどのように充実させたらよいか。 4. 心豊かな子どもを育成するための文化活動を、どのようにすすめたらよいか。 5. 健全育成のための地域活動をどのように展開すればよいか。 6. 心身に障がいを持つ子どもの教育を、PTA活動の中でどのように理解し、協力すればよいか。	「教育について想うこと」 前会津若松市長 高瀬 喜左衛門 氏
32	原 町	58. 9. 16 ～17	原町市体育館	1,882人	主題 「21世紀をになう人間性豊かな子どもの育成をめざす創造的なPTA活動の推進」 1. 創造的な活動を展開するための組織・運営のあり方をどうすればよいか。(組織運営) 2. 新しい時代に対応するPTAの研修活動をどのようにすすめたらよいか。(教養活動) 3. 心豊かな子どもを育てるための家庭教育をどのように充実させたらよいか。(家庭教育) 4. 人間性豊かな子どもを育成するために、文化活動をどのようにすすめたらよいか。(文化活動) 5. 子どもたちの豊かな心の育成をめざす地域活動をどのようにすすめたらよいか。(健全育成地域活動) 6. 心身に障がいをもつ子どもの教育をPTA活動の中で、どのように理解し、協力すればよいか。(養護教育)	「歌一筋60年」 声楽家 藤山 一郎 氏

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
33	須賀川	59. 9. 7 ～8	須賀川市文化センター 須賀川市体育館	1,995人	主題 「あすをになう心豊かで健やかな子どもの育成をめざすPTA活動の推進」 1. 実践的なPTA活動を展開するための組織・運営のあり方をどうすればよいか。(組織運営) 2. これからの時代に対応するPTA研修活動をどのようにすすめたらよいか。(教養活動) 3. 非行化の波にうちかつための家庭教育をどのように充実させたらよいか。(家庭教育) 4. 心身ともにたくましい子どもを育成するために、体育・文化活動をどのようにすすめたらよいか。(社会体育、文化活動) 5. 子どもたちの豊かな心をめざす地域活動をどのようにすすめたらよいか。(教育環境、健全育成、地域活動) 6. 心身に障がいを持つ子どもの教育を、PTA活動の中でどのように理解し、協力すればよいか。(養護教育)	「世界中の日本」 NHK放送総局 特別主幹 磯村 尚徳 氏
34	二本松	60. 11. 12 ～13	二本松市文化センター	2,100人	主題 「あすをになう心豊かでたくましい子どもの育成をめざすPTA活動の推進」 1. 魅力あるPTA活動を推進するために、組織・運営のあり方をどのようにすればよいか。(組織運営) 2. これからの時代に対応するPTAの研修活動をどのようにすすめたらよいか。(教養活動) 3. 心豊かでたくましい子どもを育てる家庭教育をどのようにすすめたらよいか。(家庭教育) 4. 心豊かでたくましい子どもを育てる文化活動をどのようにすすめたらよいか。(社会体育、文化活動) 5. 心豊かでたくましい子どもを育てる地域活動をどのようにすすめたらよいか。(健全育成、地域活動) 6. 心身に障がいをもつ子どもの教育をPTA活動の中で、どのように理解し協力すればよいか。(養護教育)	「教育-峠を超える視点」 作家 堺屋 太一 氏
35	郡山	61. 9. 17 ～18	郡山市市民文化センター (第18回東北ブロック研究大会郡山大会)	2,543人	主題 「21世紀にはばたく心豊かな子どもを育てるPTA活動を推進しよう」 1. PTAの今日的役割を果たせる組織・運営を考えよう。(組織運営) 2. 子どもの健全育成を図るために、地域活動をもりあげよう。(健全育成と地域活動) 3. だれでもが積極的に参加できる研修活動を考えよう。(成人教育) 4. 家庭教育のあり方を問い直し、学校教育との連携を深めよう。(学校教育と家庭教育(小学校部)) 5. 家庭のあり方と親の役割を考え、学校教育との連携を深めよう。(学校教育と家庭教育(中学校部)) 6. 心身に障がいを持つ子どもの教育をどのように理解し、協力するかを考えよう。(養護教育)	「私の子育て論」 -家庭にはたてまえはいらない- 俳 優 小林 千登勢 氏

回	開催地	年月日	会 場	参加人員	分科会研修課題	講 演
36	いわき	62. 9. 10 ～11	いわき市 平市民会館	2,156人	主題 「次代を創る子どもの広い心とたくましい体を育てるPTA活動」 1. 地域に根ざした機能する組織・運営を考えよう。(組織運営) 2. 時代を見つめ創意を生かした研修活動をすすめよう。(教養活動) 3. 家庭教育の役割を考え、学校との連携を深めよう。(家庭教育) 4. 体験の場を広げ自ら学びとる活動をすすめよう。(社会体育、文化活動) 5. 地域の教育力を高め活性化を図る活動をすすめよう。(健全、地域活動) 6. 心身に障がいを持つ子どもの理解と協力をPTA活動の中ですすめよう。(養護教育)	「教育をつなぐもの」 -家族・学校・地域- いわき明星大学 人文学部長 福永 安祥 氏
37	喜多方	63. 9. 8 ～9	喜多方プラザ 文化センター	2,290人	主題 「次代を創る子どもの広い心とたくましい体を育てるPTA活動」 1. 会員一人一人が自らの役割を果たす民主的な組織・運営を考えよう。(組織運営) 2. 会員相互の教養を高めるPTA活動を推進しよう。(教養活動) 3. 家庭教育の役割を考えて、家庭の子どもに対する教育機能を回復しよう。(家庭教育) 4. 子どもの豊かな心を育成するための文化活動をすすめよう。(社会体育文化) 5. ふるさとを愛する子どもたちの育成をPTA活動の中ですすめよう。(健全・地域活動) 6. 心身に障がいをもつ子ども一人一人の生きがいを高めるPTA活動を考えよう。(養護教育)	「エベレストまでの道」 女性登山家 田部井 淳子 氏
38	相 馬	平成 元. 10. 6 ～7	相馬市民会館	1,817人	主題 「21世紀をになう心身ともにたくましく、個性豊かな子どもの育成をめざすPTA活動」 1. 会員の参加意識を高める組織・運営を考えよう。(組織運営) 2. これからの時代に対応する教養活動を推進しよう。(教養活動) 3. 家庭教育の役割を見直し、家庭教育力を回復させよう。(家庭教育) 4. 広い心とたくましい体をもつ子どもを育てる活動を推進しよう。(社会体育文化活動) 5. 健全な子どもを育てる地域活動を盛り上げよう。(健全育成地域活動) 6. 心身障がいをもつ子どもの教育をPTA活動の中で、積極的に取り上げよう。(養護教育)	「たくましく生きる」 -わたしの野球人生- 野球評論家 金田 正一 氏

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
39	白河	2. 8. 31 ～9. 1	県営白河体育館	2,189人	<p>主題 「21世紀をになう、心身ともにたくましく個性豊かな子どもの育成をめざすPTA活動」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の参加意識を高める組織・運営を考えよう。(組織運営) 2. 変化の激しい時代に対応できる教養を身につけよう。(教養活動) 3. 家庭の教育力を高め、親からの働きかけをすすめよう。(家庭教育) 4. 心豊かでたくましく子どもを育てる活動をしよう。(社会体育・文化活動) 5. 健全な子どもを育てる活動を盛り上げよう。(健全育成) 6. 心身に障がいをもつ子どもの教育をPTA活動の中で積極的に取り上げよう。(養護教育) <p>特設 家庭のあり方と親の役割を考え、学校との連携を深めよう。(進路指導)</p>	<p>「動物たちの暮らしから」</p> <p>ーとくに類人猿の社会生活ー</p> <p>東京都多摩動物公園 園長 増井 光子 氏</p>
40	会津	3. 9. 13 ～14	県営会津体育館	2,193人	<p>主題 「生きる自信と喜びにみちあふれた心豊かなたくましい子どもを育てるPTA活動」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. みんなが参加できる組織・運営を考えよう。(組織運営) 2. 会員相互の意識を高める研修活動をすすめよう。(教養活動) 3. 家庭教育の役割を認識し、家庭教育力を高めよう。(家庭教育) 4. 生きる自信と喜びにみちた心豊かな子どもを育てる文化活動をすすめよう。(社会体育・文化活動) 5. 心豊かな子どもを育てる地域活動をすすめよう。(健全育成) 6. 心身に障がいを持つ子どもの教育をPTA活動の中で積極的に取り上げよう。(養護教育) 7. 家庭のあり方と親の役割を考え、学校との連携を深めよう。(進路指導) 	<p>「スポーツと人間模様」</p> <p>プロ野球セントラルリーグ会長 川島 廣守 氏</p>
41	福島	4. 9. 4 ～5	飯坂温泉観光会館 (第24回東北ブロック研究大会福島大会)	2,521人	<p>○第24回東北PTA研究大会福島大会</p> <p>主題 「21世紀をになう心豊かな子どもたちの健やかな成長のためのPTA活動」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意識を新たにしてPTA活動の活性化を図る組織・運営を進めよう。(組織運営) 2. 子どもの理解を深め生涯学習の視点に立ってPTAの活動を進めよう。(研修活動) 3. 健全な心身を育てるPTA活動を進めよう。(健全育成) 4. 学校と家庭との連携を深めるPTA活動を進めよう。(家庭と小学校教育) 5. 学校と家庭との連携を深めるPTA活動を進めよう。(家庭と中学校教育) 6. 心身に障がいを持つ子どもの理解を深めるPTA活動を進めよう。(養護教育) 7. 学校週五日制を考えよう。(特設課題) 	<p>「生活大国と生涯学習社会」</p> <p>ー所に随って誇り高く生きるー</p> <p>静岡県掛川市長 榛村 純一 氏</p>

回	開催地	年月日	会 場	参加人員	分科会研修課題	講 演
42	原 町	5.10.15 ～16	原町スポーツセンター 他	2,153人	主題 「心豊かなたくましい子どもの育成をめざすPTA活動を推進しよう」 1. 会員の参加意識を高め、活動の活性化を推進する組織・運営を工夫しよう。(組織運営) 2. 生涯学習の視点に立ったPTAの研修活動を推進しよう。(教養活動) 3. 家庭教育の重要性を理解し、家庭の教育力の高揚に努めよう。(家庭教育・学校週五日制) 4. 豊かな心とたくましい体をもつ子どもを育てる体育・文化活動を推進しよう。(社会体育・文化活動) 5. 好ましい教育環境づくりと健全な子どもを育てるPTA活動を推進しよう。(健全育成) 6. 心身に障がいを持つ子どもの教育について理解を深め、協力するPTA活動を推進しよう。(養護教育)	「心・技・体～不撓不屈の土俵人生にかけける夢～」 九重親方 (元横綱 千代の富士)
43	須賀川	6.10.14 ～15	須賀川市文化センター 他	2,242人	主題 「心豊かなたくましい子どもの育成を目指すPTA活動を創造しよう」 1. 会員の意識の改革と活動の活性化を推進する組織・運営を考えよう。(組織運営) 2. 生涯教育の視点に立ち、会員相互の資質の向上を目指す研修活動を進めよう。(教養活動) 3. 家庭の教育力の啓発と学校教育との連携強化について考えよう。(家庭教育・学校週五日制) 4. 豊かな心とたくましい子どもを育てる体育・文化活動を進めよう。(社会体育・文化活動) 5. 好ましい環境づくりと健全な子どもを育てるPTA活動を進めよう。(健全育成) 6. 心身に障がいを持つ子どもの教育について理解を深め、協力するPTA活動を進めよう。(養護教育)	「私のマラソン人生」 九州女子短期大学教授 日本体育協会陸上競技上級コーチ 君島 健二 氏
44	二本松	7.11.9 ～10	二本松市城山総合体育館	2,191人	主題 「未来をひらく心豊かでたくましい子どもの育成を目指すPTA活動を創造しよう」 1. 会員の意識の高揚と活動の活性化を推進する組織・運営を工夫しよう。(組織運営) 2. 学校教育の理解と生涯学習社会に対応し、会員の資質の向上を図る研修活動をすすめよう。(教養活動) 3. 家庭教育の重要性を認識し、家庭の教育力の高揚に努めよう。(家庭教育(小学校)) 4. 家庭教育の重要性を認識し、家庭の教育力の高揚に努めよう。(家庭教育(中学校)) 5. 豊かな心を持ち、たくましく社会の変化に対応できる子どもを育てる文化・体育・社会体験活動をすすめよう。(文化活動・社会体育) 6. 子どもに好ましい環境づくりと健全な子どもを育てる活動をすすめよう。(健全育成) 7. 心身に障がいを持つ子どもの指導を推進するとともに、子どもの心身の育成を図る活動に取り組もう。(養護教育)	「私の生き方」 女優 中村 メイ子 氏

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
45	郡山	8.10.18 ~19	ユラックス熱海 他	2,265人	主題 「思いやりとひろい心をもつ未来を担う子どもを育むPTA活動を創造しよう」 1. 会員の参加意識の高揚と、活動の活性化を図る組織・運営を工夫しよう。(組織運営) 2. 生涯学習社会の視点に立ち、会員の資質の向上を図る研修活動をすすめよう。(教養活動) 3. 家庭教育の重要性を理解し、家庭教育力の充実に努めよう。(家庭教育(小学校)) 4. 家庭教育の重要性を理解し、家庭教育力の充実に努めよう。(家庭教育(中学校)) 5. 健全な子どもを育てる好ましい教育環境づくりをめざすPTA活動を推進しよう。(健全育成) 6. 心身に障がいをもつ子どもの教育について理解を深め、協力の輪が広がるPTA活動に取り組もう。(養護教育)	「子どもの声に耳をかたむけて」 教育評論家 遠藤 豊吉 氏
46	いわき	9.10.23 ~24	いわき市 平市民会館 他	2,625人	主題 「21世紀を担う子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育むPTA活動を推進しよう」 1. 会員の参加意識の高揚と、活動の活性化を推進する組織・運営を工夫しよう。(組織運営) 2. 生涯学習社会の視点に立ち、会員の資質の向上を図る研修活動を積極的にすすめよう。(教養活動) 3. 家庭教育の重要性を再認識し、家庭教育力の高揚・充実に努めよう。(家庭教育(小学校)) 4. 家庭教育の重要性を再認識し、家庭教育力の高揚・充実に努めよう。(家庭教育(中学校)) 5. 地域の連携を深め、教育環境整備に努め健全な子どもを育てる活動を推進しよう。(健全育成) 6. 心身に障がいを持つ人への理解を深め、共に活動する輪を広げよう。(養護教育)	「もうひとつの教育」 俳優 中村 敦夫 氏
47	喜多方	10.10.21 ~22	喜多方プラザ 他	2,313人	主題 「夢あふれる未来社会とするために、子どもとともに新世紀の扉を開けよう」 1. 会員の積極的な活動への参加と、活動の活性化を推進する組織・運営を工夫しよう。(組織運営) 2. グローバルな社会に生きる責任を自覚し、会員の資質の向上を図る研修活動を積極的にすすめよう。(教養活動) 3. 家庭教育の重要性を再認識し、家庭環境づくりや教育力の高揚・充実に努めよう。(家庭教育(小学校)) 4. 家庭教育の重要性を再認識し、家庭環境づくりや教育力の高揚・充実に努めよう。(家庭教育(中学校)) 5. 学校・地域との連携のもとに教育環境の整備に努め、健全な子どもを育てる活動を推進しよう。(健全育成) 6. 心身に障がいのある人の交流を通して、共に人生観を深めよう。(養護教育)	「子どもたちよ、若者よ」 早稲田大学教授 同 大学院教授 石堂 常世 氏

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
48	相馬	11. 9. 10 ～11	相馬市民会館 (第31回東北ブロック 研究大会相馬大会)	2,364人	<p>○第31回東北PTA研究大会福島大会 主題 「夢あふれる未来社会とするために、子どもと共に新世紀の扉を開けよう！」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PTA活動の活性化を図る組織・運営について。(組織運営) 2. 生涯学習の視点に立った研修活動について。(研修活動) 3. 教育環境の整備と地域活動の促進について。(健全育成) 4. 「生きる力」を育む家庭と学校の役割について。(家庭と小学校教育) 5. 「生きる力」を育む家庭と学校の役割について。(家庭と中学校教育) 6. 心身共に健康な子どもを育てる活動について。(健康・安全教育) 7. 障がいのある人々の理解と交流について。(養護教育) 8. 家庭の教育力を高める父母のあり方について (バズセッション)。(特別課題) 	<p>「この命を凛と生きる」</p> <p>作家 大石 邦子 氏</p>
49	白河	12. 10. 6 ～7	白河中央体育館 他	2,494人	<p>主題 「夢あふれる未来社会とするために、スクラム組んで21世紀の扉を開こう！」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の積極的な参加と活動の活性化を推進する組織・運営を工夫しよう。(組織運営) 2. 生涯学習社会の視点に立ち、会員の資質の向上を図る研修活動を推進しよう。(研修活動) 3. 家庭教育の重要性を見据え、家庭の環境づくりや教育力の充実に努めよう。(家庭教育 (小学校)) 4. 家庭教育の重要性を見据え、家庭の環境づくりや教育力の充実に努めよう。(家庭教育 (中学校)) 5. 学校・地域との連携のもとに教育環境の整備に努め、健全育成を図る活動を推進しよう。(健全育成) 6. 心身に障がいのある人との交流を通して、共に人生観を深めよう。(養護教育) 	<p>「夢を持ち続けて絶好調」</p> <p>野球評論家 中畑 清 氏</p>
50	会津若松	13. 10. 6 ～7	会津風雅堂	2,356人	<p>主題 「夢あふれる21世紀のために、新しいPTA活動を創造しよう」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の積極的な参加と、活動の活性化を推進する組織・運営を工夫しよう。(組織運営) 2. 会員の資質の向上を図る研修活動を積極的に進めよう。(研修活動) 3. 今、家庭に求められていることや家庭教育の重要性を再認識し、家庭の環境づくりや教育力の高揚・充実に努めよう。(家庭教育 (小学校)) 4. 今、家庭に求められていることや家庭教育の重要性を再認識し、家庭の環境づくりや教育力の高揚・充実に努めよう。(家庭教育 (中学校)) 5. 子どもたちを取りまく環境を整え、健全な心身を育てる活動を推進しよう。(健全育成) 6. 障がいのある人々との交流を通して共に生きる心情を醸成しよう。(養護教育) <p>特別 IT (情報技術) の導入により、PTA活動をどのように変えることができるか。</p>	<p>「豊かな実りを願うなら まず土壌を耕せ」</p> <p>東海大学教育開発 研究所教授 秋山 仁 氏</p>

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
51	福島	14. 9. 28 ～29	県文化センター	3,044人	主題 「子どもたちの豊かな人間性、社会性を育むPTA活動」 1. PTA活動の活性化を図る組織・運営はどうあればよいか。(組織運営) 2. 生涯学習の視点に立った研修活動をどうすすめるか。(研修活動) 3. 学校週5日制への対応をどうすすめているか。(家庭教育(小学校)) 4. 学校週5日制への対応をどうすすめているか。(家庭教育(中学校)) 5. 地域における子どもたちの健全育成をどうすすめるか。(健全育成) 6. 障がいの有無にかかわらず、交流をどうすすめるか。(養護教育) 特別 男女共同参画活動をどうすすめるか。	「21世紀に生きる日本人を育てる」 ～家庭と学校の役割はどうあればよいか～ 評論家 金 美齡 氏
52	原町	15. 10. 4 ～5	原町市スポーツセンター	2,072人	主題 「子どもたちの自立と共生を育むPTA活動」 1. PTA活動を一層活性化する組織・運営を工夫しよう。(組織運営) 2. 会員の資質向上を図る研修活動を創造しよう。(研修活動) 3. 「生きる力」を育む家庭と地域の教育力の充実について考えよう。(家庭教育(小学校)) 4. 「生きる力」を育む家庭と地域の教育力の充実について考えよう。(家庭教育(中学校)) 5. 健全育成を環境づくりから推進しよう。(健全育成) 6. 特別な支援を必要とする人との共生を積極的に推進しよう。(養護教育)	「ここへおいで」 シンガーソングライター 梅原 司平 氏
53	須賀川	16. 9. 25 ～26	須賀川アリーナ	2,316人	主題 「新しい時代を担う子どもたちの自立と共生を育むPTA活動」 1. 諸機関や団体と積極的に連携した活動を推進しよう。(組織運営) 2. 求められている研修内容を共有して活動を推進しよう。(研修活動) 3. 子どもたちの「生きる力」を育む活動を推進しよう。(家庭教育(小学校)) 4. 子どもたちの「生きる力」を育む活動を推進しよう。(家庭教育(中学校)) 5. 心身ともに健全な子どもを育てる活動を推進しよう。(健全育成) 6. 特別な支援を必要とする人々との交流を通し、豊かな心を育成しよう。(養護教育)	「信じる力」 芥川賞受賞作家 玄侑 宗久 氏
54	二本松	17. 10. 15 ～16	二本松市城山総合体育館	2,157人	主題 「新しい時代を担う子どもたちに豊かな心と共に生きる力を育むPTA活動」 1. 学校を積極的に支援し、活性化を図る組織・運営を工夫しよう。(組織運営) 2. 生涯学習の視点から研修活動を推進しよう。(研修活動) 3. 子どもたちに豊かな心を育む家庭教育のあり方を考えよう。(家庭教育(小学校)) 4. 子どもたちに豊かな心を育む家庭教育のあり方を考えよう。(家庭教育(中学校)) 5. 三者(家庭・学校・地域)の連携を深め、子どもたちの健全な育成に努めよう。(健全育成) 6. 特別に支援を必要とする子どもと共に学ぶ環境づくりを推進しよう。(特別支援教育)	「脳を知り、脳をはぐくむ」 東北大学未来科学技術共同研究センター教授・医学博士 川島 隆太 氏

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
55	郡山	18.9.9 ～10	郡山ユラックス 熱海 (第38回東北ブロック 研究大会福島大会)	2,627人	主題 「ともに進もうPTA～開拓者精神 (フロンティアスピリット)を胸に～」 1. 魅力あるPTA活動を目指した組織・運 営(組織運営) 2. 生涯学習の視点に立った研修活動(研 修活動) 3. 家庭の教育力向上と小学校教育との連 携(家庭教育(小学校)) 4. 進路選択と学校・家庭の連携(家庭教 育(中学校)) 5. 心身ともに健康な子どもを育てるPTA 活動(健康安全教育) 6. 特別課題Ⅰ「心の教育とPTA活動」 7. 特別課題Ⅱ「幼・小・中・高のPTA連携」	「学力の新しいルー ル」 立命館大学大学教 育開発・支援セン ター教授 陰山 英男 氏
56	いわき	19.10.13 ～14	いわき明星大学 児玉記念講堂	1,806人	主題 「子と親が共に育つPTA活動を」～ 参加から参画へのPTA活動の転換～ 1. 会員の意識を高め、組織の活性化を図 ろう。(組織運営) 2. 思春期の家庭教育を考えよう。(研修 活動) 3. いじめ問題について考えよう。(特別 課題) 4. 家庭の子育てと地域の子育てについて 考えよう。(家庭教育1) 5. 子どもたちの望ましい生活習慣を形成 しよう。(家庭教育2) 6. 地域で子どもたちの安全を見守ろう。 (健全育成) 7. 特別支援教育への理解を深め、共に学ぶ 環境づくりを推進しよう。(特別支援教育)	「地球のステージ」 ～映像と音楽で語り で織りなす世界の子 どもたちへ～ NPO法人「地球の ステージ」代表理事 医学博士 桑山 紀彦 氏
57	喜多方	20.10.19	喜多方プラザ 文化センター	1,545人	主題 「子ども親も共に成長できるPTA活動 を求めて」～時代の変化にしなやかに対 応できるPTAの再創造～ 1. 今、何がPTA活動に求められるか原点 に返って考えよう。(組織運営) 2. ケータイやゲーム問題の認識と親・教師 として関わり方を考えよう。(研修活動) 3. 人間としての基本的な生活習慣と前向き に生きる姿勢をどう身につけさせるか考 えよう。(家庭教育1) 4. 思春期の子どもの心を理解し、温かい 支援の輪を広げよう。(家庭教育2) 5. 子どもの安全確保と健全育成の輪を地 域に広げよう。(健全育成) 6. だれもが生きる喜びを実感し、共に生き るための特別支援教育の推進と予防的対 策のあり方を考えよう。(特別支援教育) 7. 広い世界での体験で子どもをたくましく 育てよう(体験活動)。(特別課題)	「『子どもとメディア』 問題と青少年教育」 NPO法人子どもとメ ディア代表理事 NHK放送文化研究 所研究アドバイザー 清川 輝基 氏

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
58	相馬	21.10.17 ～18	相馬市民会館大ホール	1,520人	<p>主題 「地域一丸となったPTA活動により信頼の和を広げよう」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 見直そうPTA活動PTA活動で何ができるか。そして、何をやっていかなければならないか。(組織運営) 2. 家庭の果たす役割から食育を考えよう。(研修活動) 3. 子どもが安心して過ごすことのできる環境をいかに確保していくかを考えよう。(家庭教育1) 4. 家庭のきずなを深める活動に取り組み、子どもをTVゲームなどから引き離そう。(家庭教育2) 5. 青少年が抱える問題解決のため、家庭や地域の果たすべき役割や責任について考えよう。(健全育成) 6. 特別な支援を要する子どもの学校内外での現状を理解しながら、だれもが生きる喜びを実感できる環境作りはどうか考えよう。(特別支援) 7. 携帯サイトへのアクセスに関する問題と問題解決のための方法 (特別課題) 	<p>「レモンさんのビタミントーク～今こそ愛と絆の時代!～」</p> <p>ラジオDJ 山梨英和大学・大阪大学非常勤講師 山本 シュウ 氏</p>
59	白河	22.10.17	白河中央体育館	1,459人	<p>主題 「学び会おう！共に成長するために伝えよう！未来のこどもたちのために」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の積極的な参加と活動の活性化を推進するための組織・運営の工夫について考えよう。(組織運営) 2. 学校教育への理解を深め、生涯教育の視点に立ち会員相互の資質向上を目指す研修活動を進めよう。(研修活動) 3. 今、大人が子どもたちに残せるものを食育を通して考え、望ましい心力と知力が身につく食生活習慣を形成しよう。(家庭教育) 4. 青少年が抱える問題解決のため、家庭や地域の果たすべき役割や責任について考えよう。(健全育成) 5. 特別に支援を必要とする子どもへの理解を深め、共に学ぶ環境づくりを目指したPTA活動を推進しよう。(特別支援) 6. 豊かな体験活動を通して、心豊かでたくましい子どもを育てよう。(特別課題) 	<p>「現代に生きる江戸の教育」</p> <p>徳川宗家十八代目当主 徳川 恆孝 氏</p>
	会津若松	23.10.16	会津風雅堂		<p>※3月発生の「東日本大震災」「福島第一原発事故」のため、実施せず。次年度、第60回大会として双葉郡と会津若松市の合同主管として、会津若松市において開催する。</p>	

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
60	会津若松	24. 10. 14	会津風雅堂	1,502人	<p>主題 「会津の地に集い『人と地域の絆』を生かし、手を取り合い行動しよう～ふくしまの明るい未来のために～」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 魅力と活力のある活動をつくりあげるため、広い視野に立って意見を交わし、経験を共有しよう。活動の創造、発信について考え、行動しよう。(組織運営・研修) 2. 学校でのさまざまな取り組みを理解し、家庭で子どもたちと過ごす時間に生かし、充実した生活を支えていこう。(家庭教育・健康安全) 3. 子どもたちの健全育成を図るために、親として、地域の大人として行動できることを学び、実践していこう。(健全育成) 4. 特別な支援を必要とする児童・生徒への理解を深め、共に成長できる教育環境を目指し行動しよう。(特別支援教育) 	<p>「世界一受けたい日本語授業」</p> <p>杏林大学外国語学部教授 金田一 秀穂 氏</p>
61	福島	25. 9. 7 ～8	パルセ飯坂 (第45回東北ブロック 研究大会福島大会)	1,930人	<p>主題 「ほんとの空の下で語り合おう!笑顔あふれる子どもの未来を」～見つめ直そう PTAの絆、私たちがすべきことの再発見～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「参加意欲の向上と組織の活性化」 組織の活性化を図るために、広い視野から意見を交わそう 2. 「研修活動の創造と主体的参加」 意欲がわく研修内容の創造と発信について考えよう 3. 「子どもの自立と生活習慣や規範意識の育成」 親として地域の大人として実践できることを話し合おう 4. 「家庭と小学校教育の関わりを考える」 子どもの育ちを広い視野からみつめ考えよう 5. 「家庭と中学校教育の関わりを考える」 子どもの育ちを広い視野からみつめ考えよう 6. 「特別な配慮を必要とする子どもの理解と連携の在り方」 子どもの育ちを広い視野からみつめとらえよう 	<p>「人生は8合目から」</p> <p>登山家 田部井 淳子 氏</p>
62	須賀川	26. 10. 5	須賀川アリーナ	1,348人	<p>主題 集い、語り、つながろう!文化のまち須賀川で～子どもたちの未来とふくしまのために～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 震災や放射能汚染を乗り越え、前進するPTA活動震災から3年、PTAは、学校とともに震災や放射能汚染をどう乗り越えてきたか、さらにこれからの活動を考えよう。 2. 各地区の放射線問題の現状を理解し、今後の子どもたちの健康を守る方法について学ぼう。 3. 子どもたちが安心して学び、生活できる環境づくりを考えよう。 4. インターネットに対する自己コントロールカを身に付けさせるための家庭教育の在り方を考えよう。 5. 特別な支援を必要とする子どもたちへの理解を深め、共に成長するための教育環境整備を目指し、行動しよう。 	<p>「未来を生きるきみたちへ 自由・勇気・希望が大切」</p> <p>医師・作家 鎌田 實 氏</p>

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
63	二本松	27.10.11	城山総合体育館	1,327人	<p>主題 ほんとの空とともに よみがえる大地 子どもたちに 明るい未来を～親子の絆 地域の絆 ふくしまの今 そしてこれからを～</p> <ol style="list-style-type: none"> 魅力と活力のある活動をつくりあげるため、広い視野に立って意見を交わし、様々な経験を共有し、魅力あるPTAを築こう。 学校でのさまざまな取り組みを理解し、家庭で子どもたちと過ごす時間に生かし、充実した生活を支えていこう。 子どもたちの健全育成を図るために、親として、地域の大人として行動できることを学び、実践していこう。 特別な支援を必要とする児童・生徒への理解を深め、共に成長できる教育環境を目指し行動しよう。 	<p>「子どもは親と先生を映す鑑～愚直に誠実に～」</p> <p>セブン銀行代表取締役会長 安齋 隆 氏</p>
64	郡山	28.10.15	郡山女子大学 建学記念講堂 大ホール	1,472人	<p>主題 「水・緑・音楽」うるおいあふれる ふるさとで 人と地域が 結びつき 優しさを奏でる 子どもたち</p> <ol style="list-style-type: none"> 「活性化が生まれる焦点化・視点化された活動」 <ol style="list-style-type: none"> 会員の意識改革を進めながら、目的・意義－意味付けを明確にしたPTA活動を考える。 3.11を伝え続ける活動について考える。 「会員相互の質的向上を目指す研修活動」 <ol style="list-style-type: none"> 各校の特色ある活動の良さを学び、組織的で計画的な実践活動への取組を考える。 会員相互の認識を高め、意欲が深まり、持続的・継続的な活動が広がる研修活動を考える。体験型研修（ワールドカフェ型） 「家庭での生活習慣づくり」 <p>子どもたちを取り巻く環境の変化を適切に捉えて、学校と関連させた家庭での学習や活動について再認識し、家庭ができる支援の在り方を考える。</p> 「情報モラルを育む地域・家庭・学校との関わり方」 <ol style="list-style-type: none"> 各家庭における子どもたちのスマホ・SNS等の活用状況やルールづくりについて確認し、その危険性を知る。 デジタル情報化社会に必要な価値基準を地域・家庭－学校の立場から協議し連携を図る。 「特別支援教育への理解」 <ol style="list-style-type: none"> 特別支援教育の現状理解と子どもたちの生き方への支援の在り方と取組について協議する。 心身に障がいがある子どもたちへの理解を深め、支え導くPTA活動とその関わり方を模索する。 	<p>「福島から言葉の橋をかけて」</p> <p>詩人 和合 亮一 氏</p>

回	開催地	年月日	会 場	参加人員	分科会研修課題	講 演
65	いわき	29. 10. 15	いわき芸術文化施設 アリオス	1,383人	<p>主題 子どもたちの明るい未来を共に創造しよう！説得力と誇りある力強い大人の背中で！～大人の背中、それこそは子どもたちの情報源であり、郷土愛であり、大きな誇りである～</p> <p>1. 社会の変化に対応する魅力と活力あるPTA活動</p> <p>(1) 組織のスリム化・焦点化による組織・運営の工夫PTA活動の活性化</p> <p>(2) 社会の変化やニーズに対応し、地域と連携するPTA活動</p> <p>2. 資質の向上と活動の広まる研修活動</p> <p>(1) 会員の参加意欲を高める研修活動の工夫</p> <p>(2) 会員の資質を高め、意欲が高まり充実したPTA活動につながる研修活動</p> <p>3. 今、必要な親の背中</p> <p>(1) 子どもたちを取り巻く環境の変化をとらえ、健康や安全を守るために地域、家庭でできること</p> <p>(2) 学校と連携した家庭での学習等について現状を認識し、家庭でできること</p> <p>4. メディアと正しく向き合う家庭・地域・学校</p> <p>(1) 各家庭における子どもたちのメディアの活用状況をとらえ、その危険性に対応する方法</p> <p>(2) メディア社会で生き抜く子どもたちのためにできる地域・家庭・学校との連携</p> <p>5. 特別な支援を必要とする子どもたちへの理解とPTA活動</p> <p>(1) インクルーシブ教育への理解と支援を必要とする子どもたちへの取り組み</p> <p>(2) 心身に障がいのある子どもたちへの理解を深め、支え導くPTA活動のあり方</p>	<p>「福島の子どもの元氣、そして夢を育む」</p> <p>ぴあ株式会社 代表取締役社長 矢内 廣 氏</p>
66	喜多方	30. 10. 14	喜多方プラザ	1,347人	<p>主題 たくましく生きる 次代を担う子どもたちの喜び多い方（未来）を創ろう～今の時代だからこそ 人と人との絆を信じて～</p> <p>1. 地域の連携を強め、子どもの成長を支えるPTA活動のあり方とは</p> <p>2. SNSはじめ情報化社会のなかでの親子のあり方・保護者及び教師の子どもへの関わり方はどうあるべきか</p> <p>3. SNSはじめ情報化社会のなかでの親子のあり方・保護者及び教師の子どもへの関わり方はどうあるべきか</p> <p>4. 『自分で学習や生活を改善する力（自己マネジメント力）』を育む家庭・地域の関わり方や支援</p> <p>5. 児童生徒の豊かな心を育むための家庭・学校・地域</p> <p>6. 支援を必要としている子どもたちへの理解とPTA活動</p>	<p>「現代の養育環境は『世界一寂しい』自尊心が低い・大人になれない子どもをつくりだしている」</p> <p>医学博士 国立病院機構仙台医療センター・小児科・非常勤医師 田澤 雄作 氏</p>

回	開催地	年月日	会場	参加人員	分科会研修課題	講演
67	南相馬	1.10.20	南相馬市民文化会館 ゆめはっと ※台風19号及びその後の大雨による被災により大会開催が中止となる。 (1.10.15に20日開催の見送り決定) (1.11.20延期開催なしで中止とすることを決定)	※参加申込み者数 1,274人	<p>主題 共に語ろう！共に学ぼう！報徳精神のいきづく南相馬で～子どもたちの輝く未来のために～</p> <ol style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長を支えるPTA活動 情報化社会の中での親子のあり方・保護者及び教師の関わり方 校種を越えて地域とともにある親子のあり方・保護者及び教師の関わり方 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育むための学校・家庭・地域の連携のあり方 子どもたちが安心して学び、希望を持って生活できる環境づくり ネットのトラブルから子どもを守るための大人の関わり方 共に生きる～誰もが取り残されることの無い社会の実現へ、私達PTAができること～ <p>※台風被害により大会開催が中止となる。</p>	<p>「共に生きる。共に育つ。」</p> <p>星槎名古屋中学校長 安部 雅昭 氏</p>
68	会津若松	2.9.5～6	会津風雅堂 (第52回東北ブロック研究大会会津大会) ※コロナ禍により大会開催が中止となる。 (2.4.30決定) (参考 会津大会の1週間前に開催予定であった全国大会富山大会は2.4.21に中止が決定)	参加要請数 1,800人	<p>主題 『【希望と創造】集おう！義をつなぐ会津の地へ』～令和を拓く子どもたちのために～</p> <ol style="list-style-type: none"> PTA活動を活性化するためには ○会員の活動意欲を高める工夫 ○活性化させるための組織の在り方 PTA活動を中核とした地域連携活動のあり方～地域を愛する子どもを育成するために～ ○家庭・学校・地域をつなぐPTAの役割とコミュニティ・スクール ○地域に根付く農業や伝統文化を愛する子どもを育成するPTAの実践 子どもとともに成長するために（大人もかなえる「あいづっこ宣言」） ○家庭教育で大切にしたい子育てのよりどころについて ネット時代を生き抜くためには ○家庭におけるネットとの関わり方 ○AI時代におけるネットとの共存 家庭学習を通して自己マネジメント力を育むためには ○自己マネジメント力（自分で学習や生活を改善する力）を育むための家庭の学習環境づくり、家庭の習慣づくり 子どもの豊かな心を育むために、家庭と学校と地域でできること ○子どもの心の現状とその要因 ○家庭・学校・地域が子どもの心の教育でできること <p>※コロナ禍により大会開催が中止となる。</p>	<p>「多様性の時代に生きる」</p> <p>ジャーナリスト 柳澤 秀夫 氏</p>

30年の歩み

県連P創立30周年記念

編集後記

飛行機のプロペラがなくなり、へんみの計算尺が電卓となり、酒樽みたいなものに乗って月世界に行くことができ、地球の裏側の戦争の実況がほとんど同時にテレビジョンの面画で見られるなど、30年前のあのころ、だれが想像できたでしょうか。昭和20年代前半、それは、欠乏と辛苦、混乱と模索との交錯する、まことに急激な変貌の時代だった。

そのころ小中学校のPTAという働き盛りの人たちは日本の再建を目指して一生懸命新しい秩序を創り出していった。そして一步一步確かな足跡を残していった。しかし、激変の中で、それらの丹念な記録を残す余裕はなかったようだ。そのことは、今回の記念誌発刊に当たって大きな壁であった。

したがって、30年を経て初めてこの記念誌に本県のPTA活動の実態が記されるということは、極めて重大なことで、編集者としてその責任の重さを痛感し、しばしば思い悩んだしだいである。そのようなとき本文中にも記したように、今井豊蔵氏が当時の貴重な諸資料を丁寧に保存されていて、惜しみなく提供して下さったことは、真暗闇に光を見いだした思いであった。

しかしながら、限られた紙数のため、当然資料のすべてを登載することはできなかったし、また、あるいは県下にも貴重な資料が散在するかもしれないので、この記念誌はそれらの資料によっていっそう増補され、あるいは訂正されていくべきものである。特に今後の歴史に関する各支部PT

Aの歩みについては、資料の収集保管について更に工夫し、それが散逸しないよう心がけなければならないと思う。

一年数ヵ月を経て発刊の目途がついた今、編集者一同、この貴重な事業に携わることができた大きな幸せを感じるとともに、御協力いただいた各市町村の連合PTA会長の方々に感謝の念を禁じ得ない。

一昨年の夏は、30度を超えた日がほとんどない冷たい年だった。昨年春には、田村地方に未曾有の大雪が降って、山の杉の若木が大半裂けてしまった。しかし、明日は東北新幹線が開通する。本県の飛行場もまもなくできることだろう。浜通りの原子力発電所は、その集中率で世界一といわれる。福島県は躍進している。福島県の次の世代を背負う子どもたちを懸命に育てる父親たちや母親たちの幸せを祈って結びの言葉とする。

昭和57.6.22 記 (編集委員 木藤浩彦)

編集委員

菅野久俊 (県連P会長)

立花和夫 (県連P事務局長)

木藤浩彦 (県連P庶務部長)

永井七郎 (県連P事務長)

嶋原陽子 (県連P事務員)

装丁

清野昭善 (福島市立信夫中教諭)

題字

八木沼光央 毎日書道現代書展刻字部
(号晃汀) 門審査会員

3. 県PTA連合会歴代役員一覧

年度 役職		昭和26年	27	28	29	30
		県知事	大竹作摩	大竹作摩	大竹作摩	大竹作摩
県教育長	小野左恭	小野左恭	栗村虎雄	栗村虎雄	栗村虎雄	
会長	小松謙一	小松謙一	小松謙一	小松謙一	小松謙一	
副会長						
常任委員	福島	小松謙一	小松謙一	小松謙一	小松謙一	小松謙一
	信夫	秋山嘉吉	秋山嘉吉	秋山嘉吉	佐藤信雄	佐藤信雄
	伊達	根本英一	根本英一	根本英一	藤田一巳	佐々木昇一
	安達	安藤貞重	安藤貞重	阿部新次郎	阿部新次郎	根本修三
	郡山	真壁秀光	真壁秀光	真壁秀光	真壁秀光	真壁秀光
	安積					
	岩瀬	諏訪 広	諏訪 広	松浦勇四郎	松浦勇四郎	松浦勇四郎
	石川	橋本久右衛門	橋本久右衛門	橋本久右衛門	橋本久右衛門	橋本久右衛門
	田村	小山久吉	小山久吉	小山久吉	小山久吉	青村鉄太郎
	西白河	高坂又五郎	石川猛男	石川猛男	石川猛男	金沢三喜雄
東白川	柏木信一郎	柏木信一郎	新城猪之吉	新城猪之吉	新城猪之吉	
若松						
北会津						
河沼		佐藤勝巳	山内勝三郎	山内勝三郎	山内勝三郎	
大沼				坂内 巖	坂内 巖	
耶麻	三宅 新	遠藤藤三郎	金田登志治	金田登志治	金田登志治	
南会津	細井新次郎	細井新次郎	猪股伊八	猪股伊八	石川清次郎	
岩城					金成源右衛門	
双葉						
相馬	荒川利男	江幡 清	江幡 清	島 六郎	島 六郎	
母親代表	県北 県中 会津 浜					
事務局員	事務局長 総務部長 庶務部長 研修部長 調査広報部長 会計部長 事務長 事務員 臨時	記録が消失し不明 (昭和34年分まで)				

年度		31	32	33	34	35
役職						
県知事		大竹作摩	佐藤善一郎	佐藤善一郎	佐藤善一郎	佐藤善一郎
県教育長		栗村虎雄	佐藤光	佐藤光	佐藤光	佐藤光
会長		佐藤実	佐藤実	佐藤一	佐藤一	佐藤一
副会長			青村鉄太郎 新城猪之吉 阿部伝六	橋本修三 新城猪之吉 鈴木嘉勝	武田武 新城猪之吉 鈴木嘉勝	今泉竜造 新城猪之吉 永野孝夫
常任委員	福島	佐藤実	佐藤実	佐藤一	佐藤一	佐藤一
	信夫					酒井原恭造
	伊達	佐藤信雄	仁志田昇	仁志田昇	安細喜太郎	安細喜太郎
	安達	重富喜作	重富喜作	本田豪	本田豪	高橋岩司
	郡山	橋本修三	橋本修三	橋本修三	武田武	今泉竜造
	安積	真壁秀光	石田重雄	石田重雄	遠藤義衛	西田与祖右衛門
	岩瀬					築山卓樹
	石川	斎藤一	諏訪広	諏訪広	松浦勇四郎	松浦勇四郎
	田村	橋本久右衛門	橋本久右衛門	橋本久右衛門	根本友一	根本友一
	西白河	青村鉄太郎	青村鉄太郎	青村鉄太郎	青村鉄太郎	青木三枝
	東白川	金沢三喜雄	金沢三喜雄	金沢三喜雄	金沢三喜雄	金沢三喜雄
	若松	新城猪之吉	新城猪之吉	新城猪之吉	新城猪之吉	新城猪之吉
	北会津					鈴木兵善
	河沼	山内勝三郎	山内勝三郎	赤城勝良	赤城勝良	桑原勇吉
大沼	坂内巖	坂内巖	坂内巖	坂内巖	坂内巖	
耶麻	金田登志治	鶴巻又信	鶴巻又信	山本宗一	一重長次	
南会津	石川清次郎	星政雄	室井恒平	星好彦	馬場常吉	
岩城	阿部伝六	阿部伝六	鈴木嘉勝	鈴木嘉勝	永野孝夫	
双葉					小貫正	
相馬	島六郎	加藤政蔵	加藤政蔵	加藤政蔵	鎌田重吉	
母親代表	県北 県中 会津 浜					
事務局員	事務局長 総務部長 庶務部長 研修部長 調査広報部長 会計部長 事務長 事務員 臨時					庶務 青木喜八郎 小林美秋 佐藤四郎 会計 根本小平治 西沢長吉 佐藤俊一

年度		36	37	38	39	40
役職						
県知事		佐藤 善一郎	佐藤 善一郎	佐藤 善一郎	木村 守江	木村 守江
県教育長		佐藤 光	大槻 文夫	大槻 文夫	折笠 与四郎	折笠 与四郎
会長		田中市太郎	瀬戸孝一	瀬戸孝一	瀬戸孝一	瀬戸孝一
副会長		安積朝一 新城猪之吉 吉田茂一	新城猪之吉 吉田茂一 金沢三喜雄	宮森啓治 金沢三喜雄 吉田茂一	宮森啓治 金沢三喜雄 吉田茂一	宮森啓治 吉田茂一 国分伝三
	常任委員	福島 田中市太郎	瀬戸孝一	瀬戸孝一	瀬戸孝一	瀬戸孝一
		信夫 安細喜太郎	阿部文春	池田善治	池田善治	山村 実
伊達 佐藤修		池田善治	佐藤修	佐藤修	池田善治	大河内 鷹
安達 安積朝一		大橋太一郎	大橋太一郎	大橋太一郎	大河内 鷹	大河内 鷹
郡山 安積国分伝三		国分伝三	国分伝三	国分伝三	高橋健三	国分伝三
安岩 瀬川		三浦一	三浦一	三浦一	高橋健三	国分伝三
石川 松浦勇四郎		斎藤一	鈴木秀次	鈴木秀次	萩原 栄一	鈴木秀次
田村 根本友一		川又恒一	川又恒一	川又恒一	鈴木秀次	鈴木秀次
西白河 青木三枝		青木三枝	青木三枝	青木三枝	川又恒一	川又恒一
東白川 金沢三喜雄		金沢三喜雄	金沢三喜雄	金沢三喜雄	岩 渕 敏夫	岩 渕 敏夫
若松 新城猪之吉		新城猪之吉	宮森啓治	宮森啓治	金沢三喜雄	大楽勝男
北会津 太田由次		太田由次	宮森啓治	宮森啓治	宮森啓治	宮森啓治
河沼 二瓶信喜		広田晋六	広木久弥	広木久弥	北村 勲	小沢文雄
大沼 坂内巖		坂内巖	坂内 巖	坂内 巖	広木政三	小林 要之
耶麻 一重長次		林部八郎	山中善一郎	山中善一郎	坂内 巖	荒井直之
南会津 馬場恒吉		馬場恒吉	馬場恒吉	馬場恒吉	山中善一郎	荒井直之
岩城 吉田茂一	吉田茂一	吉田茂一	吉田茂一	馬場恒吉	馬場恒吉	
双葉 木村徳衛	木村徳衛	吉田茂一	吉田茂一	吉田茂一	吉田茂一	
相馬 鎌田重吉	松本 及	油座彦蔵	油座彦蔵	島田有造	桜井弘佑	
母親代表	北会津					
事務局員	事務局長	庶務 青木喜八郎	青木喜八郎	不明	今井豊蔵	不明
	総務部長		荒井政親		酒井正蔵	
	庶務部長		佐藤四郎		沼崎忠蔵	
	研修部長				菅野 甫	
	調査広報部長					
会計部長	会計 根本小平治	根本小平治	不明	西沢長吉	不明	
事務長	西沢長吉	西沢長吉		青柳 登		
事務員	その他詳細不明	古関順世				
臨時						

年度		41	42	43	44	45
役職						
県知事		木村守江	木村守江	木村守江	木村守江	木村守江
県教育長		折笠与四郎	折笠与四郎	折笠与四郎	折笠与四郎 三本杉國雄	三本杉國雄
会長		瀬戸孝一	瀬戸孝一	瀬戸孝一	鈴木千代松	鈴木千代松
副会長		宮森啓治 吉田茂一 国分伝三 加藤邦男	宮森啓治 国分伝三 加藤邦男 桜井弘佑	滝沢市郎 山田善五郎 合津定之 遠藤一	滝沢市郎 山田善五郎 飯土井鶴吉 遠藤一 西沢長吉	山田善五郎 飯土井鶴吉 遠藤一 松坂忠 沼崎忠
常任委員	福島	瀬戸孝一	瀬戸孝一	瀬戸孝一	鈴木千代松	鈴木千代松
	信夫	南大作	鈴木照夫		菅野構之助	菅野構之助
	伊達	池田善治	滝沢市郎	滝沢市郎	滝沢市郎	亀岡憲吾
	安達	国岡正紀	国岡正紀	小熊孝三	松坂忠寿	松坂忠寿
	郡山	国分伝三	国分伝三	山田善五郎	山田善五郎	山田善五郎
	岩瀬	渡辺正雄	箭内末之助	箭内末之助	佐久間一郎	佐久間一郎
	石川	鈴木秀次	穂積安光	穂積安光	諸岡要	諸岡要
	田村	石井武信	石井武信	矢内富治	佐伯泰男	鈴木勉
	西白河	岩渕敏夫	岩渕敏夫	池嶋三代吉	相川清衛	相川清衛
	東白川	大楽勝男	大楽勝男	大楽勝男	大楽勝男	鈴木誓弥
	若松	宮森啓治	宮森啓治	遠藤一郎	遠藤一郎	遠藤一郎
	北会津	目黒達	高橋一成		伊関顕雄	目黒友一
	両沼	小沢文雄	小沢文雄	斎藤惣吉	江川守弥	江川守弥
	大沼	小林要	小林要	小林要	白井和	白井和
	耶麻	唐橋国八	菅沼直	菅沼直	小檜山新之助	安達貞夫
	南会津	渡部友一	渡部友一	山内得平	高瀬英一	高瀬英一
いわき	吉田茂一	合津定之	合津定之	菅野忠	菅野忠	
双葉	鈴木一雄	石川武弘			植田太久	
相馬	桜井弘佑	桜井弘佑	飯土井鶴吉	飯土井鶴吉	飯土井鶴吉	
母親代表	北会津 中津 会 浜					
事務局員	事務局長	今井豊蔵	今井豊蔵	西沢長吉	沼崎忠蔵	浦井芳蔵
	総務部長	庶務 沼崎忠蔵	沼崎忠蔵	不明		
	庶務部長	新井田忠雄	新井田忠雄		庶務主任 新井田忠雄	新井田忠雄
	研修部長	佐藤善右衛門	佐藤善右衛門			
	調査広報部長	小野丑蔵	小野丑蔵			
	会計部長	菅野甫	菅野甫		会計主任 浦井芳蔵	小野丑蔵
	事務長		笹川六男			
	事務員	会計 西沢長吉	西沢長吉			
	臨時	浦井芳蔵	浦井芳蔵			
	臨時	尾形藤治郎	久能久			

年度		46	47	48	49	50
役職						
県知事		木村 守江	木村 守江	木村 守江	木村 守江	木村 守江
県教育長		三本杉 國雄	三本杉 國雄	三本杉 國雄	三本杉 國雄	三本杉 國雄
会長		山田 善五郎	相川 清衛	相川 清衛	永山 昇	永山 昇
副会長		松坂 忠寿	金子 通夫	金子 通夫	岡村 寿夫	岡村 寿夫
		相川 清衛	有賀 博	亀岡 憲吾	坂本 行藏	渡部 英治
		吉川 影亮	亀岡 憲吾	永山 昇	渡部 英治	池田 義隆
		菅野 忠	伊東 実	渡部 悟夫	池田 義隆	山崎 善兵衛
		大須賀 正美	新井田 忠雄	色摩 勝夫	色摩 勝夫	色摩 勝夫
常任委員 (昭和49年度より理事と役職名を変更)	福島	石田 力	菅野 達夫	菅野 達夫	菅野 達夫	菅野 久俊
	達南	菅野 徹雄	三浦 善次	斎藤 伝	三浦 啓三郎	菅野 源枝
	伊達	高橋 亮	亀岡 憲吾	亀岡 憲吾	小島 賢二	小島 賢二
	安達	松坂 忠寿	岡村 寿夫	岡村 寿夫	岡村 寿夫	岡村 寿夫
	郡山	山田 善五郎	阿久津 賢一	阿久津 賢一	吉田 福雄	吉田 福雄
	岩瀬	大川戸 菊吾	大川戸 菊吾	池田 義隆	池田 義隆	池田 義隆
	石川	有賀 博	有賀 博	有賀 博	坂本 政雄	坂本 政雄
	田村	永山 昇	永山 昇	永山 昇	永山 昇	永山 昇
	西白河	相川 清衛	相川 清衛	相川 清衛	相川 清衛	相川 清衛
	東白川	吉成 修一	古内 晴美	小倉 清	鴨志田 健藏	熊田 二郎
	若松	吉川 影亮	金子 通夫	金子 通夫	渡部 英治	渡部 英治
	北会津	板橋 勝美	板橋 勝美	山田 薫	長谷川 博久	越智 利憲
	両沼	佐藤 甲喜	長谷川 重夫	長谷川 重夫	長谷川 重夫	長谷川 重夫
	大沼	白井 和	白井 和	白井 和	長嶺 五一	江川 雄進
	耶麻	安達 貞夫	岩田 弘	岩田 弘	菅沼 敏久	菅沼 敏久
	南会津	室井 伊兵衛	室井 伊兵衛	室井 伊兵衛	長沼 芳男	長沼 芳男
	いわき	菅野 忠	伊東 実	坂本 行藏	坂本 行藏	山崎 善兵衛
	双葉	新谷 芳昭	渡部 悟夫	渡部 悟夫	三瓶 芳男	後藤 啓吉
	相馬	数間 治久	佐藤 鶴雄	神田 守雄	神田 守雄	田中 秀雄
母親代表	北中南津浜			平野 順子 根岸 洋子	加藤 敬子 根岸 洋子	
事務局員	事務局長	新井田 忠雄	阿曾 佐重	大越 源三郎	大越 源三郎	大越 源三郎
	総務部長					
	庶務部長	天野 幸夫 (庶務主任)	天野 幸夫	大越源三郎 (兼任)	酒井 春雄	酒井 春雄
	研修部長		千葉 昇	千葉 昇	菅野 甫	木実谷 博
	広報部長		中沢 禧夫 (広報主任)	中沢 禧夫 (広報主任)	高橋 六郎	菅野 健樹
会計部長	小野 丑藏 (会計主任)	小野 丑藏	丹治 計明	山岸 幸吉	菅野 甫	
事務長						
事務員					千葉 昇	
臨時						

年度		51	52	53	54	55	
役職							
県知事		木村守江 松平勇雄	松平勇雄	松平勇雄	松平勇雄	松平勇雄	
県教育長		三本杉國雄	邊見榮之助	邊見榮之助	邊見榮之助	邊見榮之助	
会長		渡部英治	渡部英治	石川義一	菅野久俊	菅野久俊	
副会長		佐野弘 古山久四郎 菅野源枝 池田善隆 古関富男	菅野久俊 石川義一 佐野弘 古山久四郎 古関富男	菅野久俊 深谷杜夫 長嶺富市 藤本忠男 古関富男	松本健 先崎正長 星徳哉 藤本忠男 渡辺五郎	先崎正長 鈴木喬二 星徳哉 寺島和男 渡辺五郎	
	理事	福島	菅野久俊	菅野久俊	菅野久俊	菅野久俊	菅野久俊
		達南	菅野源枝	高野和一	高野和一	高野和一	寺島和男
		伊達	佐野栄重	梅津善次郎	小島正三	斎藤太一	佐藤晃司
		安達	鹿野秀二	鹿野秀二	鹿野秀二	松本健	古山博次
郡山		吉田福雄	石川義一	石川義一	長嶺太郎吉	鬼頭弘次	
岩瀬		池田善隆	有我大三	有我大三	有我大三	五十嵐恒	
石川		深谷杜夫	深谷杜夫	深谷杜夫	鈴木謙寿	深谷杜夫	
田村		永山昇	設楽正雄	先崎正長	先崎正長	先崎正長	
西白河		相川清衛	相川清衛	柳沼和夫	柳沼和夫	柳沼和夫	
東白川		根本伝	甲賀七郎	小峰敬司	佐藤正平	根本伝	
若松		渡部英治	渡部英治	渡部英治	星徳哉	星徳哉	
北会津		清水文雄	清水文雄	森川彌	小池常雄	高橋浩	
両沼		小林寿	小林寿	小林寿	広田陽太郎	広田陽太郎	
大沼		江川雄進	長嶺富市	長嶺富市	須田隆夫	須田隆夫	
耶麻		佐野弘	佐野弘	檜内祐二郎	佐藤末吉	五十嵐照治	
南会津	渡部欣一	渡部欣一	大竹明	大竹明	細井冷一		
いわき	山崎善兵衛	鈴木康之	鈴木喬二	鈴木喬二	鈴木喬二		
双葉	佐藤祐禎	菊地俊成	藤本忠男	藤本忠男	作山博之		
相馬	古山久四郎	古山久四郎	持立真利	持立真利	太田豊秋		
母親代表	県北	斎藤夕ケ	高野素子	斎藤幸子	和知久子	後藤京子	
	中津	高橋サチ	高南条美代子	南条美代子	伊藤順子	伊藤順子	
事務局員	事務局長	石川光夫	石川光夫	石川光夫	渋谷靖十郎	永沢電四郎	
	総務部長						
	庶務部長	酒井春雄	小野寺寿雄	小野寺寿雄	小野寺寿雄	若林宏道	
	研修部長	目黒衛	目黒衛	目黒衛	花澤繁一	三浦和夫	
	広報部長	菅野健樹	遠藤保吉	遠藤保吉	斎藤健一	斎藤健一	
	会計部長	小田切博	小田切博	小田切博	小田切博	山縣昇	
事務長	永井七郎	永井七郎	永井七郎	永井七郎	永井七郎		
事務員				鳴原陽子	鳴原陽子		
臨時							

年度		56	57	58	59	60
役職						
県知事		松平勇雄	松平勇雄	松平勇雄	松平勇雄	松平勇雄
県教育長		邊見榮之助	邊見榮之助	邊見榮之助	佐藤昌志	佐藤昌志
会長		菅野久俊	菅野久俊	阿部光壽	国井庄八	国井庄八
副会長		古山博 先崎正長 大谷恒雄 星見全英 埜保貞	古山博 大谷恒雄 小林正彦 太田豊栄	国井庄八 大谷恒雄 大吉田俊夫 太田豊彦 鈴木健一	鈴木好廣 大谷恒雄 大吉田俊夫 吉田稔充 鈴木健一	鈴木好廣 西條善男 吉田俊夫 佐々木博一 添田信一
	P理事	福達伊安郡岩石田西東若北両大耶南いわ双相 島南達達山瀬川村白川松津沼麻津き葉馬 菅野久俊 佐藤幸男 藤晃司博 古山博実 大川原義夫 西間木杜長 深谷杜恒雄 先崎恒達 大菊地良一作 小貴船勇新太郎 荒井毅一夫 星権英冷一雄 中野藤隆久 加藤見全英	菅野久俊 渡辺木輝登 古山博実 大川原義夫 西間木杜次 深谷藤恒雄 大松本芳正一孝 小黒沢城孝一 赤星部伊一門 渡部井冷一 池津元紘堂 秋田元豊彦	阿部光壽 斎藤浩宗一八 菅野庄八実 国井勝利重 薄井楽一俊 山上恒龍太夫 大菊地龍俊次郎 小林次周司一 五十嵐吉昭一 星田井紘一弘 金室井佳利治 鷺井利豊彦	鈴木好廣 斎藤左平治八 中国井庄八彦 伊藤藤寿利重 相楽一勝寿雄 幕田恒定俊夫 大松本堀文宏 吉田庭毅重一 星原井重紘一 相室井田稔充 吉大原弘道 天野淳乘	鈴木好廣 水口ミ巖 木村庄八男 国井條善力 西佐藤内脩介 矢幕田勝寿衛 藤田弥五兵衛 鶴沼国幸夫 吉田俊利幸夫 鈴木木本利毅一 宮星和田長一 和渡部省一博 佐々木沼川治 大石川忠義
T理事		北中津会津双 下佐久間木藤星成水 山久木藤義成 政一忠正幸久茂 一良正幸久茂	下斎松林佐金佐 山藤本藤成藤 政七春帆俊武昭 一郎帆俊武昭	松井和夫 吉田文悟郎吉夫 小野部多武久昭 湯田成栄信 佐藤藤	松井和夫 内山崎部田光 田渡湯平小 渡湯田沢林 平小	関根千代二良帆吉夫喜 窪小谷二春多武一保 松渡湯田沢幡 平木
母親代表	北中津浜	小寺礼子 樽井満寿子	稲生幸子 長沢利枝	浅尾八重子 長沢利枝	水口ミキ 長沢利枝	寺島長子 佐々木久利枝
事務局員	事務局長	立花和夫	立花和夫	立花和夫	立花和夫	岡崎英夫
	総務部長	木藤浩彦	吉田悦郎	吉田悦郎	吉田悦郎	尻谷洋一
	庶務部長	橋本隆哲	橋本隆哲	下山政兵	下山政兵	下桑浅井賢七
	研修部長	加藤縣昇	加藤縣昇	桑浅井賢三	桑浅井賢三	永井井田陽子
	広報部長	永井七郎子	永井七郎子	永井七郎子	永井七郎子	永井七郎子
会計部長						
事務長						
事務員						
臨時						

2章

3. 県PTA連合会歴代役員一覧

年度		61	62	63	平成元	2
役職						
県知事		松平勇雄	松平勇雄	松平勇雄	佐藤榮佐久	佐藤榮佐久
県教育長		佐藤昌志	佐藤昌志	佐藤昌志	大内忠昭	大内忠昭
会長		西條善男	阿部真樹	本田文吾	斎藤元	櫻井和朋
副会長		佐々木博	斎藤元	斎藤元	櫻井和朋	神津武夫
		藤田弥五兵衛	本田文吾	櫻井和朋	山口豪志	神津武夫
		阿部真樹	若林大	山口豪志	木藤忠行	平山恒雄
		若林大	鈴木喬二	鈴木喬二	馬目佳彦	加藤貞夫
	村岡房之助	村岡房之助	村岡房之助	飛田昭栄	戸田満夫	
P 理事	福達	阿部真樹	阿部真樹	木幡忠行	木幡忠行	国分敏夫
	島南	菅野英夫	伊藤守敏	伊藤守敏	五十嵐謙吉	五十嵐謙吉
	伊達	利根川靖典	中木直右衛門	中木直右衛門	神津武志	神津武志
	達山	鈴木弘治	斎藤元	斎藤元	斎藤元	大河内守夫
	岩瀬	西條善男	本田文吾	本田文吾	築久仁男	西沢久仁男
	石川	有賀保二	大内康司	大内康司	中村幸吉	小黒隆仁
	田村	青戸正行	岡部恒	添田憲治	宗像源一	小白岩吉治
	西白	藤田弥五兵衛	櫻井和	櫻井和	櫻井和	小峰由久
	東白	菊池昭次	鈴木木	青戸孝夫	藤田祐太郎	小平山恒雄
	若松	若林大	若林大	山口豪志	山口豪志	小山林作
	北会	渡部大	渡部大	猪股昭好	阿部野哲	小千安達
	両沼	小野哲	井関敬一	広川好一	安達智守	安達智守
	大沼	星毅	渡部之	鈴木敏正	大壺井孝一	壺井孝一
	耶麻	五条方	渡部省	鈴木喬二	馬目佳彦	加藤貞夫
	南会	渡部省	渡部省	鈴木喬二	堀川巨文	中津伸文
	いわ	佐々木正	鈴木本	馬場有文	波田野廣	波田野廣
	双葉	光家重	坂本清	波田野廣		
	相馬	奥山重	鈴木清			
T 理事	北中	関根千代二	鴨田守夫	小野寺寿雄	斎藤正寛	吉田悦郎
	中津	窪小谷二良	赤沼良清	川音高平	田中間博	田中間博
	津野	浅沼恒昭	大廣中儀	寺川中儀	橋寺中儀	寺木下宇平
母親代表	北中	水口ミキ	音高幸子	音高幸子	二瓶由美子	二瓶由美子
	中津	森啓洋	音森啓洋	音兼美智子	兼井上礼子	兼井美枝子
	津野	鶴水沢利枝	佐藤水	佐藤水	佐藤水	佐藤水
事務局員	事務局長	岡崎英夫	深谷克美	荒川久吉	猪野衛雄	猪野衛雄
	総務部長					
	庶務部長	尻谷洋一	尻谷洋一	尻谷洋一	佐々木十志	佐々木十志
	研修部長	下山政一	下山政一	小松博	小渡辺	小菊地久
	広報部長	桑原兵哲	加藤哲夫	加藤哲夫	加藤哲夫	渡邊宗孝
会計部長						
事務局長	永井七郎	永井七郎	永井七郎	永井七郎	尻谷洋子	
事務員	田陽子	田陽子	田陽子	田陽子	田陽子	
臨時						

年度		3			4			5			6			7				
役職																		
県知事		佐藤 榮佐久			佐藤 榮佐久			佐藤 榮佐久			佐藤 榮佐久			佐藤 榮佐久				
県教育長		渡辺 忠男			渡辺 忠男			新妻 威男			新妻 威男			新妻 威男				
会長		櫻井 和朋			櫻井 和朋			芳賀 裕			津野 英行			山岸 清				
副会長		國分 敏夫			芳賀 裕			大河内 守夫			大河内 守夫			石澤 孝介				
		中村 幸吉			津野 英行			津野 英行			大峰 田幸雄			早川 敬介				
		加藤 貞夫			宮森 弘男			宮森 弘男			成田 勝次			成田 勝次				
		平山 恒夫			寺島 薫			大河内 宏通			植野 勝敬			植野 勝敬				
P 理事	福達伊安郡岩石田西東若北両大耶南い双相	島南達達山瀬川村河川松津沼麻津き葉馬	國分 敏夫	分邊 信一	敏田 一政	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治	夫守 夫治
	田白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	白川松津沼麻津き葉馬	河川松津沼麻津き葉馬	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸	加藤 貞夫	國分 島岩	櫻井 昌恒	大平 遠光	藤中 靖也	伊慶 徳幸
	T 理事	北中津南津古遠中	遠村 橋寺古遠中	藤越 間島川藤沢	修 康仁 嵩満	三傳 博信志 嵩満	近柳 平五山松濱	藤沼 原嵐口本須	博正 武一政 義成 哲昌	岡田 辺川五十嵐部松佐	貞文 文義 雄政 利	夫文 夫義 次哲 郎	藤田 部川野部藤	伸俊 文全 雄俊 泰	朔朗 夫史 次博 昌	須賀 紀直 征耕 俊光	一吉 次喜 衛博 孝	
	母親代表	北中津南津古遠中	二兼 荒箱	瓶子 美智子	由美子 美枝子 恵子	二瓶 由美子	小白 井野 崎	二瓶 由美子	小白 井野 崎	二瓶 由美子	小白 井野 崎	二瓶 由美子	二瓶 由美子	二瓶 由美子	二瓶 由美子	二瓶 由美子	二瓶 由美子	二瓶 由美子
事務局員	事務局長	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	阿部 重信	
	総務部長	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	佐々木 十志春	
	庶務部長	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	小松 精二	
	研修部長	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝	齋藤 宗孝
	広報部長	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝	渡辺 宗孝
会計部長	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	尻谷 洋子	
事務員	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	尻谷 陽子	
事務員	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	
事務員	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	
事務員	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	丹治 恵美子	

2 章

3. 県PTA連合会歴代役員一覧

年度		18	19	20	21	22
役職						
県知事		佐藤雄平	佐藤雄平	佐藤雄平	佐藤雄平	佐藤雄平
県教育長		富田孝志	野地陽一	野地陽一	遠藤俊博	遠藤俊博
会長		宮本孝	根本紀太郎	浪岡真澄	浪岡真澄	佐藤辰夫
副会長		渡邊守康	佐藤直毅	松本一広	松本一広	佐藤壮一郎
		片岡学秀	金子勇治	金子雄治	佐藤辰夫	佐藤厚潮
		阿部潔	小島雄一	檜内秀司	田口直人	羽金潤子
		根本紀太郎	日下龍一郎	日下龍一郎	西道典	西道典
		清野要彌	清野要明	室井君男	野崎修司	平田州一
P 理事	福島	霞正人	浪岡真澄	浪岡真澄	秋山智樹	秋山智樹
	達南 (H21より川俣)	古俣猛	伊藤博文	朝倉博	菅野智	廣野義孝
	伊達	佐藤直毅	佐藤直毅	菅野鉄也	齋藤俊則	齋藤和志
	安達	渡邊守康	松本一広	松本一広	松本一広	佐藤壮一郎
	郡山	宮本孝喜	佐藤辰夫	佐藤辰夫	佐藤辰夫	新田勝雄
	岩瀬	高口春昇	大河原正治	吉田伸司	矢吹稔一	豊岡健一
	石川	角田善嗣	大越貞治	矢内通治	車田雅一	館信敏
	村川	佐藤善秀	金子雄治	村上和行	斎藤忠一	石井敏夫
	西白河	片岡学秀	金子雄治	金子雄治	佐藤厚潮	佐藤厚潮
	東白川	鈴木雅人	青砥安彦	大竹良人	沼田重直	石川金潤
	会津若松	阿部栄昭	阿部祐美	田口直人	田口直人	石羽金潤
	北会津	小島雄一	小島雄一	長谷川孝一	鈴木真一	佐藤山喜
	麻沼	小山内真一	長谷川孝一	宮下裕司	五十嵐正忠	横井関道
	両沼	武藤浩造	栗城均明	原田英明	山部英明	佐藤部英明
	大会津	星博幸	渡部龍一郎	渡部龍一郎	西道典	渡西道典
	相馬	鎌田政己	日下英士	遠藤浩良	浪江祐一	猪狩幸彦
	双葉	鈴木紀太郎	根本紀太郎	國府司良	佐藤大和	猪谷昌彦
	いわき	根				
	T 理事	北会津	佐久間博美	三浦義久	渋谷朗子	尾下峰夫
中津		鈴木ヨシ子	小林春男	川前春男	鈴木重秀	佐藤重秀
南津		木村敏夫	高梨光一	薄藤修一	薄部宏岩	佐藤部宏岩
会津		星文人	齋藤中雄	佐々木茂美	浜名俊明	高松島伸
双葉		高篠忍俊	原永嶋啓一	永嶋啓一	永嶋啓一	高松島伸
母親代表	北会津	渡邊香代子	丹治さつき	氏家京子	八島厚子	八島厚子
	中津	結城林由美子	澁谷林由美子	渡辺崎由里子	八島厚子	八島厚子
事務局 (各部長)	総務部長	持地隆一	齋藤嘉則	齋藤嘉則	茅原秀雄	茅原秀雄
	庶務部長	渡邊和夫	山縣眞二	山縣眞二	山縣眞二	太田信男
	研修部長	勝見州良	勝見州良	勝見州良	勝見州良	太田信男
	調査広報部長	松田貞夫	松田貞夫	穴澤耕二	穴澤耕二	穴澤耕二
	会計部長	山浦勝也	遠藤二郎	遠藤二郎	遠藤二郎	郡司英夫
事務局員	事務局長	古内利勝	古内利勝	古内利勝	古内利勝	古内利勝
	事務局員	羽田陽子	羽田陽子	羽田陽子	羽田陽子	羽田陽子
臨時	丹治恵美子	丹治恵美子	丹治恵美子	丹治恵美子	丹治恵美子	

年度		23	24	25	26	27	
役職							
県知事		佐藤雄平	佐藤雄平	佐藤雄平	佐藤雄平/内堀雅雄	内堀雅雄	
県教育長		遠藤俊博	杉昭重	杉昭重	杉昭重	杉昭重	
会長		佐藤辰夫	佐藤辰夫	佐藤辰夫	村上和行	村上和行	
副会長		佐藤壮一郎	藤原聡	藤原聡	山岸波	梅津司	
		遠藤誠一	村上和行	村上和行	山岸波	梅津司	
		遠藤誠一	村上和行	村上和行	山岸波	梅津司	
		遠藤誠一	村上和行	村上和行	山岸波	梅津司	
P 理事	福島	藤原聡	藤原聡	藤原聡	山岸波	梅津司	
	川俣	三浦正一郎	佐藤明	藤野圭史	藤野圭史	菅野俊一	
	伊達	川崎理恵子	横山充二	赤井畑直明	菅野政文	菅野藤隆	
	安達	佐藤壮一郎	齋藤裕典	齋藤裕二	國井文郎	出川正文	
	郡山	伊藤典夫	伊藤典夫	瀧田勉	瀧田勉	橋本木辰也	
	岩瀬	小柳弘志	岡部幸一	橋本和茂	鈴本敬	生田目浩二	
	川村	伊藤敏幸	村上誠一	村上誠一	吉田聡明	伊藤内弘	
	白石	遠藤賢一	遠藤座和志	藤田正昇	齋藤正光	金橋秀一	
	東松	菊羽金潤	小竹安治	高竹晴彦	諏訪中義	諏訪部誠	
	会津	渡部智	國金高勝	笠間部健	田谷川孝	森藤賢一	
	北麻	大荒川英嗣	高橋訪定	佐竹善隆	白井憲友	稲本哲和	
	両沼	荒渡西	磯西	石田宗敏	小林利明	小林利明	
	南津	猪狩昌彦	石	鈴木敏	佐藤秀雄	佐藤洋一	
	相馬	部光夫	安藤哲朗	遠藤真子	遠藤秀とみ	相芳賀澤良	
	双葉	奈貞勝	佐藤勝芳	古川地芳	大矢澤島	川伏見地	
	いわき	藤秀男	菊芳大	芳賀邊	川島義教	川島義教	
	T 理事	北中	部光夫	安藤哲朗	遠藤真子	佐藤秀雄	佐藤洋一
		津双	藤秀男	菊芳大	芳賀邊	川島義教	川島義教
母親代表	北中	山岸波	山岸波	山岸波	貝羽貴子	菊地真弓	
	津浜	川島久美子	川島久美子	川島久美子	横田純子	横田純子	
事務局(各部長)	総務部長	茅原秀雄	茅原秀雄	大橋誠寿	大橋誠寿	大橋誠寿	
	庶務部長	太田信夫	太田信夫	太田信夫	大江口隆	大江口隆	
	研修部長	勝見州	古川満里	古川満里	角田俊逸	菊地川逸	
	調査広報部長	穴沢耕英	穴沢耕英	佐藤秀英	石須	石須	
事務局員	事務局員	古内利勝	古内利勝	古内利勝	古内利勝	古内利勝	
	事務局員	古内利勝	古内利勝	古内利勝	古内利勝	古内利勝	

年度		28				29				30				31 (令和元)				2			
役職		内堀雅雄	堀雅雄	雅雄	雄	内堀雅雄	堀雅雄	雅雄	雄	内堀雅雄	堀雅雄	雅雄	雄	内堀雅雄	堀雅雄	雅雄	雄	内堀雅雄	堀雅雄	雅雄	雄
県知事		鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄	鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄	鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄	鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄	鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄
県教育長		鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄	鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄	鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄	鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄	鈴木淳一	堀雅雄	雅雄	雄
会長		小林利明	堀雅雄	雅雄	雄	小林利明	堀雅雄	雅雄	雄	誉田憲孝	堀雅雄	雅雄	雄	成澤勝蔵	堀雅雄	雅雄	雄	平塚康晴	堀雅雄	雅雄	雄
副会長		誉田憲孝	堀雅雄	雅雄	雄	誉田憲孝	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤徹	堀雅雄	雅雄	雄	野田誠	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤友則	堀雅雄	雅雄	雄
		鈴木辰也	堀雅雄	雅雄	雄	鈴木辰也	堀雅雄	雅雄	雄	増子国安蔵	堀雅雄	雅雄	雄	平塚康晴	堀雅雄	雅雄	雄	石井洋平	堀雅雄	雅雄	雄
		安藤敦典	堀雅雄	雅雄	雄	安藤敦典	堀雅雄	雅雄	雄	成澤勝蔵	堀雅雄	雅雄	雄	小箱裕一	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤真浩	堀雅雄	雅雄	雄
		福士寛樹	堀雅雄	雅雄	雄	福士寛樹	堀雅雄	雅雄	雄	小古明善	堀雅雄	雅雄	雄	大佐一行	堀雅雄	雅雄	雄	宗像真広	堀雅雄	雅雄	雄
		福地憲司	堀雅雄	雅雄	雄	福地憲司	堀雅雄	雅雄	雄	伊藤隆幸	堀雅雄	雅雄	雄	佐々木通晃	堀雅雄	雅雄	雄	大佐秀美	堀雅雄	雅雄	雄
P 理事	福川伊安郡岩石田西東会北耶両	誉田憲孝	堀雅雄	雅雄	雄	誉田憲孝	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤重徳	堀雅雄	雅雄	雄	野田誠	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤友則	堀雅雄	雅雄	雄
	島侯達達山瀬川村白河川松津麻沼	藤治野	堀雅雄	雅雄	雄	藤治野	堀雅雄	雅雄	雄	菅野敬一	堀雅雄	雅雄	雄	岡田篤康	堀雅雄	雅雄	雄	藤田直康	堀雅雄	雅雄	雄
	津島山瀬川村白河川松津麻沼	木辰也	堀雅雄	雅雄	雄	木辰也	堀雅雄	雅雄	雄	斎藤昌志	堀雅雄	雅雄	雄	平塚康晴	堀雅雄	雅雄	雄	大河内康晴	堀雅雄	雅雄	雄
	津島山瀬川村白河川松津麻沼	田裕英	堀雅雄	雅雄	雄	田裕英	堀雅雄	雅雄	雄	内寛典	堀雅雄	雅雄	雄	矢野隆喜	堀雅雄	雅雄	雄	橋本利久	堀雅雄	雅雄	雄
	津島山瀬川村白河川松津麻沼	内弘徹	堀雅雄	雅雄	雄	内弘徹	堀雅雄	雅雄	雄	金子宗光	堀雅雄	雅雄	雄	久部洋行	堀雅雄	雅雄	雄	上野芳和	堀雅雄	雅雄	雄
	津島山瀬川村白河川松津麻沼	藤信	堀雅雄	雅雄	雄	藤信	堀雅雄	雅雄	雄	安藤剛孝	堀雅雄	雅雄	雄	池田豊子	堀雅雄	雅雄	雄	石井洋平	堀雅雄	雅雄	雄
	津島山瀬川村白河川松津麻沼	五十嵐	堀雅雄	雅雄	雄	五十嵐	堀雅雄	雅雄	雄	島林裕竜	堀雅雄	雅雄	雄	別府裕和	堀雅雄	雅雄	雄	東海林和邦	堀雅雄	雅雄	雄
	津島山瀬川村白河川松津麻沼	本哲治	堀雅雄	雅雄	雄	本哲治	堀雅雄	雅雄	雄	星昌友	堀雅雄	雅雄	雄	小椋恵司	堀雅雄	雅雄	雄	相田知津子	堀雅雄	雅雄	雄
	津島山瀬川村白河川松津麻沼	洋一	堀雅雄	雅雄	雄	洋一	堀雅雄	雅雄	雄	崎洋一	堀雅雄	雅雄	雄	宗像真人	堀雅雄	雅雄	雄	相田知津子	堀雅雄	雅雄	雄
	T 理事	北中南津双わ	江口隆弘	堀雅雄	雅雄	雄	江口隆弘	堀雅雄	雅雄	雄	松野光伸	堀雅雄	雅雄	雄	重巢吉美	堀雅雄	雅雄	雄	高橋健一	堀雅雄	雅雄
北中南津双わ	西間木敏史	堀雅雄	雅雄	雄	西間木敏史	堀雅雄	雅雄	雄	松野光伸	堀雅雄	雅雄	雄	重巢吉美	堀雅雄	雅雄	雄	高橋健一	堀雅雄	雅雄	雄	
北中南津双わ	小内伸一	堀雅雄	雅雄	雄	小内伸一	堀雅雄	雅雄	雄	松野光伸	堀雅雄	雅雄	雄	重巢吉美	堀雅雄	雅雄	雄	高橋健一	堀雅雄	雅雄	雄	
北中南津双わ	川島敬章	堀雅雄	雅雄	雄	川島敬章	堀雅雄	雅雄	雄	松野光伸	堀雅雄	雅雄	雄	重巢吉美	堀雅雄	雅雄	雄	高橋健一	堀雅雄	雅雄	雄	
北中南津双わ	菊地泰清	堀雅雄	雅雄	雄	菊地泰清	堀雅雄	雅雄	雄	松野光伸	堀雅雄	雅雄	雄	重巢吉美	堀雅雄	雅雄	雄	高橋健一	堀雅雄	雅雄	雄	
北中南津双わ	矢吹清光	堀雅雄	雅雄	雄	矢吹清光	堀雅雄	雅雄	雄	松野光伸	堀雅雄	雅雄	雄	重巢吉美	堀雅雄	雅雄	雄	高橋健一	堀雅雄	雅雄	雄	
母親代表	北中南津双わ	菊地真弓	堀雅雄	雅雄	雄	菊地真弓	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤裕子	堀雅雄	雅雄	雄	大須賀祐香	堀雅雄	雅雄	雄	大須賀祐香	堀雅雄	雅雄	雄
北中南津双わ	藤明子	堀雅雄	雅雄	雄	藤明子	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤裕子	堀雅雄	雅雄	雄	大須賀祐香	堀雅雄	雅雄	雄	大須賀祐香	堀雅雄	雅雄	雄	
北中南津双わ	秋月淳子	堀雅雄	雅雄	雄	秋月淳子	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤裕子	堀雅雄	雅雄	雄	大須賀祐香	堀雅雄	雅雄	雄	大須賀祐香	堀雅雄	雅雄	雄	
北中南津双わ	大泉きよみ	堀雅雄	雅雄	雄	大泉きよみ	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤裕子	堀雅雄	雅雄	雄	大須賀祐香	堀雅雄	雅雄	雄	大須賀祐香	堀雅雄	雅雄	雄	
事務局長(各部長)	総務部長	大橋誠寿	堀雅雄	雅雄	雄	大橋誠寿	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤武彦	堀雅雄	雅雄	雄	古川豊浩	堀雅雄	雅雄	雄	中村徹浩	堀雅雄	雅雄	雄
庶務部長	佐藤喜彦	堀雅雄	雅雄	雄	佐藤喜彦	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤武彦	堀雅雄	雅雄	雄	古川豊浩	堀雅雄	雅雄	雄	中村徹浩	堀雅雄	雅雄	雄	
研修部長	庄司久子	堀雅雄	雅雄	雄	庄司久子	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤武彦	堀雅雄	雅雄	雄	古川豊浩	堀雅雄	雅雄	雄	中村徹浩	堀雅雄	雅雄	雄	
調査広報部長	石川逸子	堀雅雄	雅雄	雄	石川逸子	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤武彦	堀雅雄	雅雄	雄	古川豊浩	堀雅雄	雅雄	雄	中村徹浩	堀雅雄	雅雄	雄	
会計部長	長澤芳明	堀雅雄	雅雄	雄	長澤芳明	堀雅雄	雅雄	雄	齋藤武彦	堀雅雄	雅雄	雄	古川豊浩	堀雅雄	雅雄	雄	中村徹浩	堀雅雄	雅雄	雄	
事務局員	事務局員	佐藤秀雄	堀雅雄	雅雄	雄	佐藤秀雄	堀雅雄	雅雄	雄	佐藤秀雄	堀雅雄	雅雄	雄	大橋誠寿	堀雅雄	雅雄	雄	大橋誠寿	堀雅雄	雅雄	雄
事務局員	事務局員	藤田陽子	堀雅雄	雅雄	雄	藤田陽子	堀雅雄	雅雄	雄	藤田陽子	堀雅雄	雅雄	雄	大橋誠寿	堀雅雄	雅雄	雄	大橋誠寿	堀雅雄	雅雄	雄

4. 県PTA表彰の記録

◇団体（昭和31年～令和2年）

年度	文 科 省	県 教 委	日 本 P T A	東 北 P T A	県 P T A
昭和31	福 島 一 小	白 河 一 小 平 一 小			
32	平 一 中	須賀川一中小 泉崎中 棚倉中 郡山商 平商高			
33	謹 教 小	日 新 小 川 部 中 磐 城 女 高			
34	金 透 小	飯 坂 小 田 島 中 安 二 高 東 白 農 商 高			32
35	湯 野 小	油 井 小 笈 川 小 会 津 小 高			37
36	湯 本 一 小 平 一 小	開 成 小 浪 江 中 保 原 中 浅 川 侯 中 高	湯 本 一 小		35
37	笈 川 小	美 山 小 喜 多 小 讓 方 中 浪 芳 中 江 江 小	笈 川 小		45
38	開 成 小	石 川 小 河 東 一 中 新 鶴 二 中 会 津 二 高	開 成 小		48
39	中 村 一 小	福 島 三 小 行 健 二 小 白 河 中 福 島 工 高	中 村 一 小		49
40	飯 坂 小(福島)	豊 川 小 幾 世 橋 小 石 戸 中 小 野 高	飯 坂 小(福島)		45
41	河 東 一 小	勝 常 小 近 津 小 平 三 工 高	平 三 小		45
42	平 三 小	本 宮 小 錦 表 小 若 郷 女 中 高	保 原 小		54
43	行 健 二 小	杉 田 小 中 谷 一 小 檜 沢 中 相 馬 農 高	浪 江 小		47
44	保 原 小	日 和 田 小 城 北 小 富 岡 二 小 郡 山 工 高	福 島 二 中		41

年度	文 科 省	県 教 委	日 本 P T A	東 北 P T A	県 P T A
45	城 北 小	門 田 小 埴 浜 中 小 岩 瀬 農 高	福 島 三 小		41
46	門 田 小	田 口 小 高 田 一 中 相 馬 女 子 高	本 宮 小		45
47	本 宮 小	只 見 小 原 町 二 小 伊 達 中 東 白 農 商 高	棚 倉 小	保 原 中	44
48	錦 高 田 一 中	清 明 小 平 四 小 川 内 中	高 田 一 中	田 口 小	38
49	只 見 小	棚 倉 小 西 山 小 北 信 中 田 島 中	三 春 小 福 島 四 中	赤 井 小	36
50	棚 倉 小 原 町 二 小	広 戸 小 喜 多 方 二 中 上 遠 野 中	日 新 小 白 河 中 央 中	上 遠 野 小	40
51	日 新 小 上 遠 野 中	常 葉 中 大 宮 中	平 二 小 飯 野 中	須 賀 川 二 小	32
52	清 明 小 田 島 中	釀 芳 小 高 野 小 鹿 島 中	須 賀 川 二 小 塩 川 中	釀 芳 中 鹿 島 中	36
53	広 戸 小 喜 多 方 二 中	白 河 二 小 塩 川 中	郡 山 一 中 富 岡 一 中	余 目 小 高 田 二 中	35
54	讓 芳 小 鹿 島 中	中 谷 二 小 広 野 中	河 東 三 小 若 松 二 中	瀬 上 小 平 二 小 本 松 一 中 二 石 川 中 白 河 二 中	42
55	白 河 一 小 平 二 小	埴 高 中 小 高 中	坂 下 小 双 葉 北 小	川 俣 小 桜 川 小 石 郷 一 小 南 神 一 小	43
56	福 島 三 小 常 葉 中	南 郷 一 小 桜 小	大 鳥 中 浅 川 中	小 野 新 町 小 保 原 北 小 榑 葉 高 中 小 高 田 一 中 高 田 一 中 高 田 一 中 高 田 一 中	43
57	喜 多 方 二 小 小 高 中	富 岡 一 小 小 名 浜 一 小	瀬 上 小 若 松 三 中	田 島 二 小 小 名 浜 一 小 日 和 田 二 中 富 岡 島 中	53
58	白 河 二 小 南 郷 一 小	福 島 四 小 川 南 小	阿 武 隈 小 若 松 一 中	小 網 木 小 江 名 槻 小 大 槻 熊 中 小 大 野 中	39

●団体

年度	文科省	県教委	日本PTA	東北PTA	県PTA
59	石川小 伊達中	坂下二 保原中高	原町三小 大戸小	白河五小 清倉三小 棚倉六小 小浜中	39
60	平川四小 川俣高	福島二小 釜子小	須賀川二 二本一中	平六小 千里小 城西小 渡利中 郡山五 郡坂一中	44
61	富岡一 坂下二 中	植田小 田島小 湖南高	大槻三 福島中	二本南小 須賀川一 表郷田小 門野嶺小 大駒ケ	39
62	福島四小 桜小	清水小 阿武隈小	羽太小 堀越小	原町一 大森小 鶴城小 泉栄中	42
63	浪湖江 南高	泉喜多 方一小	長倉三 喜多方中	小平小 埴名小 本沢小 赤猪苗 東代中 只見中	47
平成元	福島二 塙中	二本松南 白河五 上郷小	川俣小 一箕小	森江野 木幡一 柏城小 玉川小 宮城小 中	43
2	小名浜一 田島小	大屋小 福浦小 郡山二 郡中	富野小 小田川小	平石小(安達) 磐梯一 長沼四 若松郷中	49
3	喜多方一 白河中央 中	大会森小(福島) 四津坂下小 倉小	石神二 若松五 中	東芳小 竹貫田小 錦東小 野田中 瀬川中 猪苗代中	41
4	三春小 広野中	小平小(平田) 南郷中 双葉中	玉井小 白河二 平一中	佐原小 東湯野小 開成小 関辺三 若松中 山広野中	43
5	清水小 坂下小	高田小(大沼) 笹谷小	富田中(郡山) 鶴城小 福浦小(小高)	鎌田小(福島) 石小(伊達) 桃見台小 白河三 柳津小 葛尾小	40

年度	文科省	県教委	日本PTA	東北PTA	県PTA
6	大屋小 高田小	善郷小(矢吹) 鶴城小 檜沢小(田島)	吉井田小(福島) 大枝小(伊達) 二本松一中	月輪小(福島) 福島市養護 桑野盛小小 永滝盛根小小 若原町四一中 榎葉中 中央台北中(いわき)	43
7	福浦小 (保原高)	門沢小(船引) 針生小(田島) 磯部小(相馬)	須賀川一小 永田小(平田) 白河一小	野田小小 岳下小小 南戸小小 郡山七小小 門沢長小小 松上野小小 上勿真来	35
8	鶴城小 二本松南小	白河三小 只見中	安積三小 米小(西郷) 真野小(鹿島)	平野小中 桃陵小小 糠沢小小 木幡一一小小 郡山石大越小小 鏡上和部小小 上永磯中 藤間中(いわき)	37
9	川南小 郡山二中	鮫川中 大野小(大熊)	小坂小(国見) 須賀川二小 荒海小(田島)	福島三小(岩代) 田沢小(岩代) 野新町小小 鹿島木小小 日立三小小 勿来健中 行浅川中	35
10	双葉中 大森小(福島)	白河二小 城西小	水保小(福島) 都路一中 植田小	新殿小(岩代) 下太田小(東和) 金透小小 明和中(只見) 大熊中	36
11	植田小 門沢小	熊倉小(西郷) 榎葉北小	北沢又小小 南戸沢小小 大信中	上保原小小 二本松南小小 二月本松三小小 石形川小小 門田妻小小 吾八幡幼小(相馬) 江名小勿来一中	31
12	上笹郷小 谷小	平野小 江城南小小 江川小(下郷)	平野中 一箕中 泉北小	富野小小 山上根小小 原町郷小小 三小	37
13	善郷小(矢吹) 磯部中	石神二小 平一中	清明小小 上太田小小 鹿島中	渡利国小小 小白小(白沢) 小戸神小小 移磐崎中	27

●団体

年度	文 科 省	県 教 委	日 本 P T A	東 北 P T A	県 P T A
14	平野小 西山小(柳津)	南郷二小 大熊中	飯坂小(福島) 行健小 大野小・幼	福島一中小 沢田中小 太田春一中小 松内三小	29
15	針生小(田島) 城西小(若松)	二本松北小	東山小(若松) 石神二小 石平小	二本松一中小 北戸山海(天栄)小 北芳熱湯本名浜二小	27
16	白河三小 泉小(いわき)	行仁小(若松) 南小(下郷)	二本松北小 石川一小 石村一小	二本松三中小 本幡一(船引)小 今泉中(三春)小 岩江町一(いわき)小 原泉中	32
17	小平小 会津養護	原町三小 山岡小	須賀川一中小 中央台北小	小坂一中小 本宮小・中小 御浮城北二小 城勿来	34
18	熊倉小(西郷) 大野小(大熊)	熊倉小(喜多方) 檜原小	白石小 石野中	渡塩小 利沢田三小 原山三小 春若飯田一分一 若飯田夫平	34
19	二本松北小 城南生養護	荒海小	城北小 富田中	平野田中小 杉門植田小	28
20	四倉小 倉沢小	若松三中 檜枝岐小中	原町一小小 堂島小	下朝日郷熊 太田丘中小 田が郷熊	25
21	阿武隈北小 榎葉小	飯豊小・幼 (相馬) 久之浜中	大夏枝二小小 井二小	渋川崎小小 下(二本松)榎 飯久之浜中	28
22	中谷第二小 白河第五小	西会津中 飯樋小(相馬) 草野小(いわき)	下大越小・幼 草野小(いわき)	保東松明福 原和長和浦小小	34
23	須賀川一小 山岡小(棚倉) あぶくま養護	伊南小 福田小(新地)	油井小 桶売小・中	五塩五大永古江平 十沢川山田道川一 沢川小小小	26

年度	文 科 省	県 教 委	日 本 P T A	東 北 P T A	県 P T A
24	檜枝岐小・中 油 井 小	只見小(相馬) 桜丘小 郷 一 中	大 甕 小 豊 間 中	蓬 萊 中 安 達 太 良 小 杉 田 小 永 盛 小 大 飯 成 小(小野) 飯 豊 小 高 小	28
25	原 町 三 小 荒 海 小	蓬 萊 中 安 達 太 良 小 仁 井 田 小 旭 日 田 小 大 甕 小	新 地 小 久 之 浜 一 小	大 田 小 掛 本 郡 二 中 山 塩 江 小 小 芦 沢 箕 小 一 村 二 中 中 山 上 小 幼	29
26	飯 豊 小・幼 仁 井 田 小	芦 沢 小 新 地 小	浮 金 小・中 小 高 5 校	東 和 小 大 磯 部 小 錦 越 小	26
27	蓬 萊 中 福 田 二 中 白 河 二 中		福 島 一 中 小 名 浜 二 小	山 舟 入 小 中 飯 郷 小 幼 飯 豊 小 幼	23
28	熊 倉 小 石 神 二 小 草 野 小		田 人 小 大 熊 中	梁 川 小 富 田 小 向 陽 中 沢 石 小 吾 妻 小	30
29	埴 沢 小 芦 新 地 小		飯 野 中 二 本 松 北 小	伊 達 中 大 滝 玉 中 栃 山 根 神 小	25
30	行 仁 小 旭 田 小		清 水 小 高 野 三 小 郷 三 中	飯 野 中 塩 沢 小 西 向 小 大 山 小	26
令和元	安 達 太 良 小 猪 苗 代 小	栃 山 神 小 芳 山 小 東 北 中	三 和 小 都 路 小	白 岩 小 五 百 引 小 船 代 小 岩 川 中	23
2	中 郷 小 朝 日 小	都 路 小 堂 島 小 荒 海 中	御 山 小 東 和 小	飯 野 中 伊 本 二 中 保 松 原 小 石 本 田 小 本 薫 賀 川 小 須 常 葉 三 小 伊 常 伊 南 小	22

◇個人 (昭和31年～令和2年)

年 度	昭和31年	昭和32年	昭和33年	昭和34年	昭和35年
文 部 大 臣					
日 本 P T A	新 城 猪之助	赤 城 勝 良	阿 部 伝 六	小 松 謙 一	江 尻 忠 平
	小 山 久 吉	坂 本 六 良	青 村 鉄太郎	鈴 木 嘉 勝	鈴 木 兵 喜
	金 森 源右衛門	橋 本 久右衛門	阿 部 俊 一	泉 川 正 義	橋 本 修 三
東 北 P T A 感 謝 状					
東 北 P T A					
日 P 感 謝 状					
県 P 感 謝 状 受 賞 者 数					
県 P 個 人 表 彰 受 賞 者 数				52	49

●個人

年 度	昭和42年	昭和43年	昭和44年	昭和45年	昭和46年
文 部 大 臣		今 井 豊 蔵			
日 本 P T A	国 分 伝 三	石 井 武 信	瀬 戸 孝 一	内 田 正 三	鈴 木 千 代 松
	遠 籐 熊 四 郎	鶴 卷 又 信	大 楽 勝 男	西 沢 長 吉	飯 土 井 鶴 吉
	飯 塚 仁 一	阿 部 彦 市	管 沼 直	野 崎 茂	遠 藤 一 郎
	加 藤 邦 男		合 津 定 之	油 座 彦 蔵	浦 井 芳 蔵
東 北 P T A 感 謝 状					
東 北 P T A					
日 P 感 謝 状		池 田 善 治			
		橋 本 久 右 衛 門			
		西 館 与 右 祖 衛 門			
		金 成 源 右 衛 門			
		青 木 喜 八 郎			
		荒 井 正 親			
		安 細 喜 太 郎			
		佐 瀬 勝 己			
		鈴 木 秀 次			
		石 川 猛 男			
		馬 場 恒 吉			
		西 沢 長 吉			
		根 本 小 平 治			
		青 村 鉄 太 郎			
	佐 藤 脩				
	坂 内 巖				
	管 野 甫				
県 P 感 謝 状 受 賞 者 数					
県 P 個 人 表 彰 受 賞 者 数	74	79	84	84	100

●個人

年 度	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年
文 部 大 臣	管 野 久 俊				
	渡 辺 英 治				
日 本 P T A	佐 野 弘	石 川 義 一	藤 本 忠 男	鈴 木 喬 二	先 崎 正 長
	古 山 久 四 郎	長 嶺 富 市	松 本 健	星 徳 哉	星 見 全 英
	相 川 清 衛	鹿 野 秀 二	持 立 真 利	柳 沼 和 夫	星 義 幸
	山 下 正 一	深 谷 荘 夫	有 我 大 三	寺 島 和 男	佐 藤 晃 司
東 北 P T A 感 謝 状					
東 北 P T A	清 水 文 夫	小 林 壽	小 峰 啓 司	鬼 頭 弘 次	佐 藤 幸 男
	渡 辺 欣 一	高 野 和 一	難 波 平 八 郎	五 十 嵐 恒	中 野 貞 雄
	鈴 木 康 之	半 谷 克 夫	鈴 木 謙 寿	高 橋 浩	貴 船 勇 作
	藤 田 茂	古 関 富 男	長 瀬 太 郎 吉	広 田 陽 太 郎	加 藤 隆 久
	岩 沢 勝 彦	目 黒 衛	高 橋 巖	須 田 隆 夫	佐 久 間 一 二
		吉 田 良 一	斎 藤 太 一	五 十 嵐 照 治	樽 井 満 寿 子
		山 下 正 一	和 智 久 子	作 山 博 之	小 寺 礼 子
				太 田 豊 秋	
				伊 藤 順 子	
			渡 辺 五 郎		
日 P 感 謝 状	高 野 和 一				
	中 村 昌 幸				
	柳 沼 和 夫				
	我 妻 秀 太 郎				
	新 城 健 一				
	渡 部 欣 一				
	鈴 木 康 之				
	猪 俣 春 雄				
	佐 藤 栄 重				
	阿 部 和 一				
	甲 賀 七 郎				
	設 楽 正 雄				
	清 水 文 夫				
	長 嶺 五 一				
菊 地 俊 成					
渡 部 英 治					
県 P 感 謝 状 受 賞 者 数					
県 P 個 人 表 彰 受 賞 者 数	109	106	104	104	92

昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年
古山 博					阿部 真樹
小林 正一					西條 善男
管野 久俊	阿部 光壽	太谷 恒雄	吉田 俊夫	西條 善男	若林 大
国井 庄八	大川原 実	吉田 稔充	鈴木 好廣	藤田 彌五兵衛	幕田 勝壽
太田 豊彦	金成 栄久	鈴木 健一	大沼 治	佐々木 博	渡辺 省一
細井 冷一	管野 宗一	立花 和夫	武藤 長英	星 毅一	下山 政一
渡辺 登	山上 俊朗	薄井 勝利	太田 良一	鈴木 弘次	渡部 晃
菊地 良達	鷺 佳弘	相楽 一重	青山 昭	池津 紘堂	森 啓子
遠藤 祐次	川井 利治	天野 淳乗	有賀 悌三	長澤 利枝	鶴水 洋子
赤城 孝一	大橋 寛一	白井 恒寿	松本 吉修	水口 キミ	桑原 兵永
林 俊	伊藤 博人	柿木 敏雄	鈴木 利幸	岡崎 英夫	井関 鉄雄
下山 政一	森川 彌	吉田 泰久	石井 忠義	関根 千代二	田畑 光三
山縣 昇	遠遠 庄一郎		添田 信一	窪小谷 二良	小林 四郎
			浅井 賢三		渡辺 庄一
			渡部 多吉		管家 清
			湯田 武夫		
大川原 実					本田 文吾
五十嵐 周司					鈴木 喬二
長沢 利枝					村岡 房之助
斎藤 浩一					中村 直右衛門
山上 俊郎					善澄 満
鷺 佳弘					阿部 郁夫
室井 紘一					尻谷 洋
小林 次郎					永井 七郎
星 毅一					斎藤 元
管野 宗一					櫻井 和明
菊地 龍太					大内 康司
薄井 勝利					伊藤 守敏
川井 利治					野仲 儀一
相楽 一重					栗原 兵永
金田 吉昭					井関 鉄雄
33	24	32	28	31	24
103	104	105	100	96	98

●個人

年 度	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年
文 部 大 臣					櫻 井 和 朋
					壺 井 孝 一
日 本 P T A	本 田 文 吾	木 藤 忠 行	榮 壽	国 分 敏 夫	渡 邊 信 一
	齋 藤 元	山 口 豪 志	神 津 武 志	中 村 幸 吉	安 田 武 吉
	村 岡 房之助	馬 目 佳 彦	波 多 野 広 文	平 山 恒 雄	遠 藤 貞 治
	阿 部 郁 夫	飛 田 昭 栄	佐 藤 弓 子	加 藤 貞 夫	我 妻 武 男
				戸 田 満 夫	伊 藤 靖 也
東北PTA感謝状					櫻 井 和 朋
東 北 P T A	鈴 木 喬 二	大 塚 守	五十嵐 謙 吉	吉 田 一 政	関 根 貢
	大 内 康 司	宗 像 源 一	西 澤 久仁男	二 瓶 孝 夫	山 田 猛 夫
	猪 俣 昭 衛	藤 田 祐太郎	安 藤 智	樋 口 克 巳	後 藤 喜美夫
	音 高 幸 子	阿 部 進 翼	田 中 隆	大 金 昌 仁	小 澤 誠
	尻 谷 洋	小 野 哲	佐 藤 老 松	遠 藤 光 昭	加 藤 正 典
	国 分 道 男	堀 川 亘 夫	猪 野 衛 雄	田 中 武 昭	小 白 井 玲 子
		中 村 幸 吉		慶 徳 幸 廣	
				荒 井 美 枝 子	
日 P 感 謝 状					芳 賀 裕
					大 河 内 守 夫
					津 野 英 行
					宮 森 泰 弘
					寺 島 岩 男
					村 越 寿 夫
					箱 崎 恵 子
					二 瓶 由 美 子
					小 野 輝 子
					戸 田 英 一
					初 瀬 川 昂
					小 松 榮
					齋 藤 精 二
					佐 々 木 十 志 春
				渡 邊 宗 孝	
県P感謝状受賞者数	30	27	28	30	28
県P個人表彰受賞者数	97	97	109	96	99

●個人

年 度	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
文 部 大 臣				早 川 敬 介	
日 本 P T A	箕 輪 達 也	齋 藤 泰 一	早 川 敬 介	熊 本 光 義	林 憲 一
	國 田 法 應	鈴 木 雅 文	清 川 雅 史	佐 藤 友 宏	但 野 義 和
	武 田 一 奉	林 一	生 井 雄 幸	加 藤 征 男	春 日 和 光
	早 川 栄 二	坂 上 よし子	内 海 淳 一	荒 海 健 二	手 島 まり子
	佐久間 一 枝	阿 部 保 憲	長谷川 昭 江	白 石 高 司	塩 田 米 子
東北PTA感謝状				早 川 敬 介	林 憲 一
東 北 P T A	宮 口 昭 一	佐 藤 一 好	依 田 朝 子	平 舘 泉	貝 田 美 郎
	野 村 重 忠	藤 原 清	板 橋 健 一	須 田 尚	高 荒 栄 征
	車 田 悦 夫	齋 藤 昭	神 林 哲	遠 藤 静 子	石 井 昭
	佐 川 正 一 郎	今 野 登 志 子	石 井 庄 一	猪 狩 雄 一	高 倉 胤 尚
	田 中 茂	小 野 洋 美	渡 邊 正 美	古 内 利 勝	田 部 義 康
	猪 俣 孝 之	横 山 恒 廣		大 楽 睦 彦	井 上 まゆみ
	長 嶺 裕 行				
日 P 感 謝 状				藤 原 清	
				須 田 尚	
				神 林 哲	
				春 日 和 光	
				平 舘 泉	
				遠 藤 静 子	
				石 井 庄 一	
				塩 田 米 子	
				小 林 芳 信	
				手 島 まり子	
				古 内 利 勝	
				高 倉 胤 尚	
				門 脇 孝 徳	
				石 井 昭	
			松 田 貞 夫		
県P感謝状受賞者数	31	37	25	31	30
県P個人表彰受賞者数	102	107	113	103	103

平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
			宮本 孝		
			根本 紀太郎		
小松 良行	川村 勝彦	宮本 孝	根本 紀太郎	金子 雄治	浪岡 真澄
貝田 美郎	皆川 誠治	渡邊 守康	佐藤 直毅	日下 龍一郎	松本 一広
居川 孝男	菊田 宏	片岡 学秀	小島 雄一	樫内 秀司	田口 直人
水野 武和	八島 厚子	松田 貞夫	阿部 潔	森田 昌幸	
小松 良行		宮本 孝	根本 紀太郎		浪岡 真澄
小松 榮					
加藤 隆	佐藤 晃	大橋 勝彌	清野 要	大竹 明	野崎 修司
鈴木 修典	木村 孝雄	結城 省子	若林 由美	室井 君男	蛭田 優子
内藤 徳夫	村岡 泉	渡邊 香代子	藤田 祐子	氏家 京子	加藤 純子
新城 基行	吉田 博道	佐久間 博美	丹治 さつき	山崎 由里子	真壁 清孝
峯島 和彦	添田 保雄	山浦 勝也	澁谷 薫	國府田 司良	佐藤 大和
岡崎 正子	山田 典子	持地 隆一	伊藤 末吉	吉田 伸司	山縣 眞二
	早坂 静枝	古俣 猛	北館 長一	面川 春男	遠藤 二郎
	星 文人				
			鈴木 修典		
			内藤 徳夫		
			新城 基行		
			星 聖司		
			早坂 静枝		
			山田 典子		
			結城 省子		
			若林 由美		
			藤田 祐子		
			渡邊 香代子		
			星 文人		
			伊藤 末吉		
			山浦 勝也		
			持地 隆一		
38	29	37	32	35	36
121	108	82	94	90	96

●個人

年 度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
文 部 大 臣			浪 岡 真 澄		
			佐 藤 辰 夫		
日 本 P T A	佐 藤 厚 潮	佐 藤 壮 一 郎	西 道 典	佐 藤 辰 夫	山 岸 波
	渡 部 英 明	羽 金 潤 子	藤 原 聡	川 島 久 美 子	古 内 利 勝
	渡 辺 さ ゆ り	染 谷 昌 彦	村 上 和 行		
	勝 見 州 良	松 本 伸 一	小 竹 晴 彦		
東 北 P T A 感 謝 状				佐 藤 辰 夫	古 内 利 勝
東 北 P T A	平 田 州 一	鈴 木 昭 雄	丹 野 学	福 井 一 明	君 島 勇 吉
	平 子 か お り	渡 部 栄 昭	根 本 眞	齋 藤 裕 二	会 田 智 康
	下 重 秀 俊	芳 賀 敦 子	遠 藤 誠 一	迎 茂 樹	大 樂 治 美
	秋 山 智 樹	佐 藤 秀 喜	伊 藤 典 夫	鈴 木 敏 広	藤 野 圭 史
		渡 部 岩 男	横 山 充	菊 池 芳 次	國 井 文 郎
			石 明 生	太 田 信 男	滝 田 勉
			川 崎 理 恵 子	郡 司 英 夫	齋 藤 正 明
					佐 藤 秀 雄
日 P 感 謝 状			遠 藤 誠 一		
			山 縣 眞 二		
			遠 藤 二 郎		
			蛭 田 優 子		
			秋 山 智 樹		
			渡 部 岩 男		
			川 島 久 美 子		
			山 岸 波		
			穴 澤 耕 二		
			下 重 秀 俊		
			薄 宏 次		
			齋 藤 嘉 則		
			郡 司 英 夫		
		茅 原 秀 雄			
		太 田 信 男			
県 P 感 謝 状 受 賞 者 数	29	33	31	37	36
県 P 個 人 表 彰 受 賞 者 数	87	125	83	82	74

平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
		小林利明		
諏訪秀一 梅津司	小林利明 鈴木辰也 渡部喜典	安藤 敦 橋 文紀 武山 剛	誉田 憲孝 齋藤 徹 増子国安 箱崎 洋一	成澤勝蔵 野田 誠 小林裕子
村上 和行		小林利明	誉田 憲孝 佐藤 秀雄	成澤勝蔵
菅野善昌 佐久間裕晴 横田純子 丸田和弘 出川正人 渡部 誠 須田 尊	福士寛樹 金内 貴弘 稲本 哲治 大橋 誠寿 石川逸子 江口隆弘 庄司久子	齋藤吉成 福地 憲司 佐藤喜彦 長澤芳明 菊地真弓 大竹妙子 川島敬章	古関明善 伊藤隆幸 齋藤裕子 松野光伸 大杉和規 齋藤 剛 阿部 貴史	佐々木 義通 渡邊みゆき 大泉きよみ 重巢吉美 佐藤和典 古川 豊 芦野孝彦
		大橋 誠寿		
		石川逸子		
		菊地真弓		
		川島敬章		
		大樂治美		
		金内 貴弘		
		江口隆弘		
		大泉きよみ		
		矢吹清光		
		長澤芳明		
		佐藤喜彦		
		須田 尊		
		横田純子		
		羽田陽子		
		佐藤 秀雄		
35	32	37	34	35
81	88	101	76	69

40年の歩み

県連P創立40周年記念

編集後記

福島県PTA連合会が発足して40年、喜びの記念の年を迎えた。戦後の混乱の中で誕生した県連Pが、本県教育振興のために果してきた役割は大きい。

その輝かしい足跡は、すでに創立30周年記念誌「30年の歩み」として、発刊されている。いま、改めて見てみると、散在した資料をよくまとめられており、編集に当たられた当時の事務局の方々の苦心がしのばれる。

今回、40周年記念誌編さんの事業が計画されたが、30周年記念誌を基に、昭和56年度以降平成2年度までの10年間の資料をまとめて「40年の歩み」として、刊行することにした。

この間の資料は、よく保管されており、編集は容易であったが、限られた頁数の中に、要領よく、どの程度載せられるか。また写真等を多く挿入して、見易いようにするかなど苦心した。それにしても、資料については、さらに工夫し、それが収集保管に努めておかねばならないことを、痛感した。

年度末、原稿を執筆してくれた各都市連P事務局の方々のご協力に感謝する。資料をひもとき、10年間の足跡を要約することも、努力を要することであったと思う。

この記念誌が、今後の活動の礎となって、福島県PTA連合会が、益々発展することを願ってやまない。

(編集担当者一同)

◇参考文献

県連P30周年記念誌「30年の歩み」
全日P編「80年代のPTA像」
総集編・第1集
全日P編「PTA設立40周年記念誌」
PTA新聞社編「PTA年鑑」総集版
福島県教委編「みんなのPTA」
東北大会・全国大会の大会要項・速報版

◇題 字

元福島市立荒井小学校長・元県連P広報部長、
県連P安全互助会災害防止習字展審査員
桑原兵永先生

— 編集担当 —

猪野 衛 雄 (県連P事務局長)
尻 谷 洋 (県連P事務局長)
羽 田 陽 子 (県連P事務局)
永 井 七 郎 (元県連P事務局長)
下 山 政 一 (元県連P研修部長)

(※40周年記念誌は平成3年3月31日発行)